

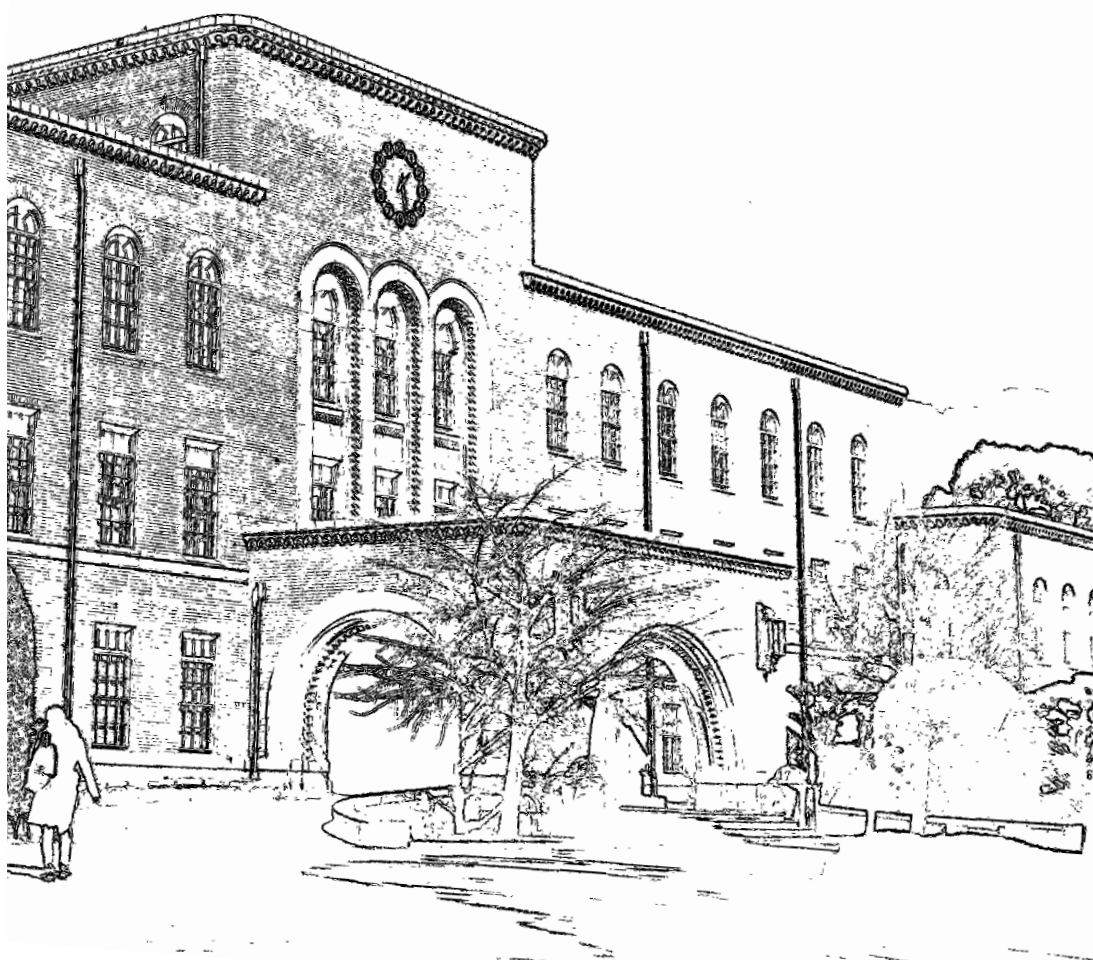


神戸大学

研究基盤センター報

No.23 2026

＜令和7年度（2025年度）活動実績報告書＞



アイソトープ部門

Radioisotope
Division



機器分析部門

Instrumental
Analysis Division



極低温部門

Cryogenic
Division



加速器部門

Accelerator
Division



動物機能解析部門

Animal
Functional
Analysis Division



目次

《巻頭言》

コアファシリティセンター長 田中 克志	1
---------------------------	---

《センター活動報告》

若手フロンティア研究会 2025	2
講習会・学会・委員会等の開催実績	5
講習会・学会・委員会等の参加実績	13
2025 年度導入設備	27

《各部門・室 活動報告》

アイソトープ部門活動報告	29
機器分析部門活動報告	32
極低温部門活動報告	39
加速器部門活動報告	41
動物機能解析部門活動報告	44
放射線統括安全管理室活動報告	46
研究設備サポート推進室活動報告	49

《利用実績》

研究基盤センター利用実績	55
--------------------	----

《組織》

研究基盤センター組織	63
------------------	----

《お問い合わせ・アクセス》

お問い合わせ	69
--------------	----

巻頭言

研究基盤センターは、2004 年におこなわれた独立法人化を契機として、「神戸大学における自然科学全般の学際的な教育研究の支援体制を充実させるとともに、幅広い基礎研究基盤の充実及び先端的な応用研究への進展に資する」という目的のもと学内共同基盤組織の一つとして設置されました。2026 年 2 月に実施された改組により研究基盤センターは学術・社会共創機構の中のコアファシリティセンターとなり、その役割はこれまで行ってきた、機器共用、機器利用講習会の開催、技術相談、依頼分析計測、寒剤の供給、加速器実験利用支援、動物の機能解析に関わる教育などを学内に提供することはもちろん、「ひょうご神戸研究基盤共同利用機構」なども含む学外の他大学などの公的機関や民間企業の利用希望者まで提供対象を拡大しました。この改組に伴い、従来の「アイソトープ部門」、「機器分析部門」、「極低温部門」、「加速器部門」、「動物機能解析部門」はそれぞれ「コアファシリティセンター基盤共用部〇〇セクション」となり「放射線統括安全管理室」の室長は学長直下の「統括放射線安全管理者」へ、「研究設備サポート推進室」は学外への機器共用も睨んだ「コアファシリティセンター共用戦略部」となりました。さらに学内のインキュベーション施設に導入されている設備機器を共用に供するためにコアファシリティセンター先端共用部が設置されました。本報告内容は 2025 年度、すなわち改組前の活動がほとんどであることから、改組前の 5 部門 2 室の活動を中心に記述することといたします。

今年度も J-PEAKS の予算、また学内予算措置により設備機器の新規導入を進め、既存設備機器と併せてより広範囲の分析手法を提供することができるようになりました。センター全体の利用者数が増加傾向にあることはセンターが導入している機器がみなさまの希望にあっており、研究活動に大いに役立っているものと安堵しております。ただ、みなさまにはこれらの新規設置された分析機器、また既存の分析機器や実験環境を提供するために、センタースタッフがそれらの機器の保守管理、機器利用講習会の開催、技術相談、依頼分析計測、寒剤の供給、加速器実験利用支援、動物の機能解析に関わる教育などの教育研究活動を支える基盤的なサービスを提供していることにも目を向けていただきたいと思います。

コアファシリティセンターに移行後もスタッフによる保守管理によって、これらの基盤的なサービスを停止することなく提供できるよう努力する所存です。多くの共通性の高い基盤的な施設・設備・機器を学内研究者に提供しているコアファシリティセンターは学内外の研究を下支えする重要な役割を担っていると自負し、これまで以上に多くの研究者の身近な存在でありたいと願っています。

本報告書には 2025 年度の研究基盤センターの活動実績をまとめています。ご高覧いただけましたら幸いです。今後とも、研究基盤センターから発展したコアファシリティセンターに対するご指導ご鞭撻、ならびに、ご支援をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

コアファシリティセンター長 田中 克志

若手フロンティア研究会 2025

研究基盤センターを利用する若い研究者は、物理・化学・生物、生命科学、地球惑星科学からナノ工学に至るまで自然科学系のあらゆる分野の研究に励んでいる。

研究基盤センターではこのような若い研究者が異なる分野間で自由に意見を交換し、交流を深め、研究へのモチベーションを高め、さらには新たな研究シーズを探ってもらうことを目的として、ポスターによる研究発表会を「若手フロンティア研究会」として毎年開催している。今回は第 21 回目にあたり、神戸大学百年記念館の2階ホワイエと六甲ホールを会場として開催した。

各ポスターの前では学生や教職員による活発な討論が行われ、発表者は貴重な意見を得ることができた。昨年度に引き続き、研究基盤センターを利用していない人も参加できる「オープン部門」と、発表者自らが受賞に立候補できる「受賞立候補制」を実施した。あわせて、神戸大学「志」特別選抜入試合格者の入学前教育スクーリングの一環として、2026 年 4 月入学予定の高校生 55 名による研究会見学を行った。さらに、発表概要集『若手フロンティア研究会 2025 概要集』を発刊した。また、審査の充実を図るため審査時間を延長し、その時間を活用して「学生が選ぶベストポスター賞」をイベントとして実施した。

日 時：12 月 25 日（木） 12 時 45 分～16 時 30 分

場 所：神戸大学百年記念館（発表会場：2F ホワイエ・六甲ホール 表彰式：六甲ホール）

プログラム：ポスターセッション・交流会・表彰式

（ポスター発表：78 件・参加者数 245 名）

表 彰：最優秀賞 1 件、優秀賞（部門賞）4 件、奨励賞 1 件を表彰した。

【受賞ポスター】

●最優秀賞	小胞体分子による exosome 積載物の決定機構の解明
	農学研究科 資源生命科学専攻 博士前期課程 種井 太郎
● 優 秀 賞	
[アイソトープ・動物機能解析部門]	α シヌクレイン液滴の老化過程および α B-クリスタリンによる抑制作用の解析
	理学研究科 化学専攻 博士前期課程 藤塚 健次
[機器分析・加速器部門]	紙上に作製した撥水表面を用いたバイオセンサーの開発
	工学研究科 応用化学専攻 博士前期課程 西條 貴浩
[極 低 温 部 門]	金属錯体含有イオン液体を用いた配位化合物の光形成
	理学研究科 化学専攻 博士前期課程 小篠 遥
[オープン 部 門]	実用的な常圧サリチル酸骨格形成反応の開発
	農学研究科 生命機能科学専攻 博士前期課程 山本 彩加
● 奨 励 賞	イチゴアレルゲン Fra a 1.01 のリガンドの探索
	農学研究科 資源生命科学専攻 博士前期課程 細見 陽菜

最優秀賞の受賞者には、副賞として国内外での学会発表参加費及び渡航費の一部が援助される。

本年度最優秀賞受賞の種井 太郎さんのポスター概要と学会発表参加報告を次ページに記す。

A05

[アイソトープ・動物機能解析部門]

小胞体分子によるexosome積載物の決定機構の解明

種井太郎¹、津曲和哉²、山代 萌¹、川渕亜季¹、上田洋司³、有井 潤⁴、森永涼介⁵、土田邦博³、
今見考志²、蜷川 暁^{1,6}

1. 農学研究科 資源生命科学専攻 博士前期課程、 2. 理化学研究所・生命医科学
3. 藤田医科大・難病治療、4. 神戸大院・医、5. 旭川医科大・医、6. 神戸大・バイオシ

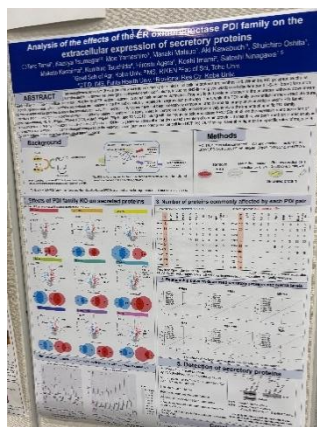
細胞外へ分泌到達する経路として、小胞体-ゴルジ体を経由する古典的分泌経路と細胞外小胞 (exosomeなど) による非古典的分泌経路があり、これらの関わりはこれまで報告がない。

本研究では、小胞体関連遺伝子の遺伝子破壊(KO)細胞を複数種用いて、細胞上清・膜タンパク質発現への影響をプロテオミクス解析で調べた。その結果のうち一部を示すと、小胞体の酸化還元酵素であるPDIA、PDIBがそれぞれ分泌タンパク質 Agrin、Stc2そして膜タンパク質Tmm94、Tacd2などの発現に必要なことが理解できた。そして意外なことに、PDIA-KO、PDIB-KOにおいて、exosomeタンパク質の細胞上清量が大幅に減少していた。UBL3化されたexosome積載放出予定のタンパク質群がPDIA-KO、PDIB-KOでは、顕著に蓄積していた。またMVE (Multi-vesicular endosome)は、exosomeの生合成に必須のオルガネラであるが、このマーカーであるCD63の免疫染色を行うと、PDIA-KO、PDIB-KOではそれぞれMVEの大きさと数が増加しており、電子顕微鏡の結果もこれを支持した。exosome放出経路を感染利用する、単純ヘルペスウイルスは、PDIA/PDIB-DKOで顕著に減少することも見出した。本研究は、小胞体の分子がexosome、MVEを制御することを明確に示す。そして小胞体は、古典的分泌経路に加え、非古典的分泌経路をも制御する「分泌の司令塔」として君臨することが明らかとなりつつある。

若手フロンティア研究会 2025 最優秀賞副賞（学会派遣支援）報告

神戸大学大学院 農学研究科 資源生命科学専攻

博士前期課程 2 年 種井 太郎



発表ポスター

この度は、若手フロンティア研究会におきまして最優秀ポスター賞という身に余る賞を賜り、大変光栄に存じます。また、副賞として学会派遣費用をご支援いただきましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

いただいたご支援により、2026 年 7 月 13 日～15 日、北海道 札幌コンベンションセンターで開催されました「第 78 回日本細胞生物学会大会」にて、ポスター発表という形で参加いたしました。

会期中は、小胞体や細胞内輸送、プロテオミクスなど、多種多様な専門家の先生方、学生の皆様と議論を交わしました。非常に多くの参加者の皆様に興味を持って聞いていただき、小胞体に秘められたタンパク質分泌経路制御機構の新たな可能性を示すことができたと感じております。多角的な視点から貴重なご意見やご指摘をいただくことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

また、学会前日に行われた「細胞生物若手の会」にも参加いたしました。学部生から博士課程の学生まで幅広い層が集まり、自身の将来について語りあい、研究に対しての熱い思いを共有することができました。学会中も、お互いの発表について議論を深め、学会後も食事を共にする機会をいただくなど、生命科学を志す同世代の輪を大きく広げることができたと感じております。

最後になりますが、このような素晴らしい経験を積む機会を与えてくださった関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。この経験を糧に、より一層研究活動に専念したいと思います。



北海道といえば回転寿司！！

2025 年度 講習会・学会・委員会等の開催実績

アイソトープ部門

[講習会の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
六甲台地区放射線・RI 講習会 (非密封 RI 利用)(新規者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.非密封 RI の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	1 時間 20 分	e-learning	18 名
六甲台地区放射線・RI 講習会 (加速器利用) (新規者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.放射線発生装置の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	1 時間 20 分	e-learning	72 名
六甲台地区放射線・RI 講習会 (非密封 RI 利用)(再教育者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.非密封 RI の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	50 分	e-learning	62 名
六甲台地区放射線・RI 講習会 (加速器利用) (再教育者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.放射線発生装置の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	50 分	e-learning	102 名
デジタルマイクロ スコープセミナー	原理、アプリケーションの紹介	大村弦也 (キーエンス)	4/16	1 時間 30 分	オンライン	24 名
等温滴定型カロリー メーター技術セミナー	原理、アプリケーションの紹介	廣瀬雅子 (スペクトリス)	5/17	1 時間 30 分	オンライン	17 名
共焦点顕微鏡代替 機 FV1000 (生物学専攻) 利用講習	基本操作および取扱説明	柏崎隼	6/3	30 分	理学研究科	3 名
ChemiDoc Touch MP 利用講習	基本操作および取扱説明	柏崎隼	6/24	30 分	アイソトープ部門試料調製準備室	3 名
共焦点顕微鏡代替 機 FV1000 (生物学専攻) 利用講習	基本操作および取扱説明	柏崎隼	7/30	1 時間 30 分	理学研究科	1 名

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
共焦点 ST8 導入セミナー	原理、アプリケーションの紹介	稲山蔵人 (ライカマ イクロシス テムズ)	9/3	1 時間	アイソトープ部 門棟顕微鏡室	26 名
共焦点 ST8 取扱説明会 (レーザー顕微鏡編)	基本操作および取扱説明 (レーザー顕微鏡編)	稲山蔵人 (ライカマ イクロシス テムズ)	9/17, 9/18, 9/26	1 時間 30 分	アイソトープ部 門棟顕微鏡室	40 名
共焦点 ST8 取扱説明会 (蛍光寿命編)	基本操作および取扱説明 (蛍光寿命編)	稲山蔵人 (ライカマ イクロシス テムズ)	9/25	1 時間 30 分	アイソトープ部 門棟顕微鏡室	14 名
液体シンチレーションカウンター取扱説明会	基本操作および取扱説明	趙洛斐 (ア ロカ)	2/19	1 時間	アイソトープ部 門棟分析機器室	5 名
カロリメーター PEAQ-ITC 取扱説明会	基本操作および取扱説明	加藤真紀 (スペクト リス)	3/4	3 時間	アイソトープ部 門棟セミナー室 および試料調製 準備室	16 名
デジタルマイクロ スコープ利用講習	基本操作および取扱説明	柏崎隼	3/13	1 時間	アイソトープ部 門棟顕微鏡室	3 名

機器分析部門

[講習会の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
透過型電子顕微鏡:JEM-1010 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	5/27, 5/28, 6/24, 3/3, 3/6	9 時間 30 分	機器分析部門棟 204 室	18 名

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
高分解能走査透過 分析電子顕微鏡機 器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	5/28, 6/12, 6/25, 9/3, 11/25, 11/28,12/3, 12/11, 3/18	14 時間 30 分	機器分析部門棟 102 室	30 名
電界放出形走査電 子顕微鏡：JSM- IT800HL 機器利 用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	5/19, 5/27, 6/23, 7/9, 11/25	6 時間	機器分析部門棟 310 室	14 名
卓上 SEM：JCM- 7000 NeoScope 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	5/21, 6/6	3 時間	機器分析部門棟 311 室	13 名
走査型プローブ顕 微鏡：SPM-9600 機器利用講習会	KFM、電流モード測定	野口喜代子	4/7	2 時間	機器分析部門棟 303 室	1 名
走査型プローブ顕 微鏡：SPM-9600 機器利用講習会	水中モード測定	野口喜代子	4/15	2 時間	機器分析部門棟 303 室	2 名
走査型プローブ顕 微鏡：SPM-9600 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	野口喜代子	5/21, 6/2, 6/19	6 時間	機器分析部門棟 303 室	4 名
走査型プローブ顕 微鏡：SPM-9600 機器利用講習会	MFM モード測定	張益仁 野口喜代子	10/14	2 時間	機器分析部門棟 303 室	5 名
走査型プローブ顕 微鏡：SPM-9600 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	1/13, 1/22, 2/19	6 時間	機器分析部門棟 303 室	11 名
ICP 発光分光分析 装置マルチ型： Agilent5900 機 器利用講習会	基本操作および取扱説明	野口喜代子	7/10, 7/18, 7/29, 8/19, 10/14	5 時間	機器分析部門棟 207 室	16 名
ICP 発光分光分析 装置マルチ型： Agilent5900 機 器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	3/3	1 時間	機器分析部門棟 207 室	1 名

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
可視分光エリプソメータ: Auto SE 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	5/30, 10/31, 11/28, 12/23	3 時間	機器分析部門棟 202 室	12 名
多目的デジタル核磁気共鳴装置: Avance-500 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	5/19, 6/2, 8/5, 10/23, 11/27, 12/4	12 時間	機器分析部門棟 101 室	24 名
クロスセクションポリッシャ: SM-09010 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	7/9, 9/29	4 時間 30 分	機器分析部門棟 307 室	4 名
SP-etcher 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	9/12	30 分	機器分析部門棟 311 室	2 名
オスミウムコーター: Tennant20 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	4/9, 5/13, 6/23	1 時間 30 分	機器分析部門棟 311 室	7 名
カーボン、プラチナ、オスミウムコーター 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	5/19, 5/27	1 時間	機器分析部門棟 209 室	6 名
カーボンコーター: JEC-560 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	5/20	1 時間	機器分析部門棟 209 室	2 名
クライオイオンスライサー: IB-09060CIS 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	12/10	4 時間	機器分析部門棟 102 室	1 名
クライオイオンスライサー、アイソメット、ハンディラップ 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	7/3, 7/7	6 時間	機器分析部門棟 102 室	3 名

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
ウルトラマイクロ トーム: ULTRACUT-UCT 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	日高興士	7/15, 3/17	3 時間	機器分析部門棟 102 室	4 名
顕微レーザー ラマン分光分析装 置:NRS-7100 機 器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	5/26, 6/9, 6/23	6 時間	機器分析部門棟 206 室	9 名
顕微レーザー ラマン分光分析装 置 NRS-7100 (JASCO) 機器利 用講習会	マッピング測定の講習	張益仁	4/28	2 時間	機器分析部門棟 206 室	2 名
高分解能多機能 X 線回折装置 SuperLab 機器 利用講習会	基本操作および取扱説明	野口喜代子	5/9, 8/21, 8/27,	6 時間	機器分析部門棟 203 室	5 名
蛍光 X 線分析装 置 : EA1400 機 器利用講習会	基本操作および取扱説明	野口喜代子	5/9, 5/20, 5/23, 5/30, 6/3, 6/11	6 時間	機器分析部門棟 205 室	15 名
走査型光電子分光 分析装置 : X-tool 機器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	5/27, 6/6, 7/14, 11/18	8 時間	機器分析部門棟 208 室	13 名
レオメーター: MCR 702e MultiDrive 導入 時説明会	基本操作および取扱説明	アントンパ ール 張益仁	1/15	4 時間	機器分析部門棟 105 室	8 名
回転粘度計: ViscoQC 300 導 入時説明会	基本操作および取扱説明	アントンパ ール	6/12	2 時間	機器分析部門棟 307 室	3 名
回転粘度計: ViscoQC 300 機 器利用講習会	基本操作および取扱説明	張益仁	3/3	1 時間	機器分析部門棟 105 室	2 名

極低温部門

[講習会の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
BEEF+ Venture を用いた寒剤利用 講習	1. 高圧ガス保安法について 2. 寒剤の安全な利用について 3. 液体窒素自動充填装置の取り扱い 方法について	赤木暢 原茂生	4/1 よりオン デマンド形式 にて	4/1- 3/31 ま で	オンライン	371 名 教職員: 40 名 院生: 64 名 学部生: 267 名
ESR2 利用講習会	1. ESR の原理 2. 装置の使い方	原茂生	2026/1/14	1 時間	極低温棟 203 号室	学内利用 者 1 名

加速器部門

[講習会の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
タンデム静電加速 器利用者会議	1. 運転状況、修理・改良等の報告 2. 2025 年度上半期、下半期の使用予定 の仮決定	谷池 晃	上半期: 4/2 下半期: 9/29	1 時間	深江キャンパス RI・加速器実験 棟 制御測定室	上半期: 13 名 下半期: 13 名
放射線業務従事者 教育訓練講習会 (新規者)	1. 放射線の人体に与える影響 2. 放射性同位元素等又は放射線発生装置 の安全取扱い 3. 放射線障害の防止に関する法令及び放 射線障害予防規程	宮本昌明 金崎真聡	5/2-11/28	2 時間	Leaf 研修管理シ ステム e-learning	13 名
放射線業務従事者 教育訓練講習会 (継続者)	同上	同上	5/1-3/2	同上	同上	28 名
放射線業務従事者 教育訓練講習会 (他事業所所属者 の追加講習)	同上	同上	5/23-2/28	同上	同上	51 名

動物機能解析部門

[講習会の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
利用説明会	農学研究科の松尾先生のグループが特殊実験区域とラット飼育室を使い、ラットケージでハムスターを飼育する実験を行うことから、そのための利用説明会を行った。	高原英一郎	4/30	1 時間	SPF2	1 名
利用説明会	発達科学部の湯浅先生とそのグループに利用説明会を行った。	高原英一郎	5/20	1 時間	SPF2	2 名
利用者講習会： 「やってはいけない事例集」	実験動物に参加する学生向けにこれまでのトラブル事例をもとにした「やってはいけない事例集」についての講習を行った。	本田和久	5/30	30 分	農学研究科 D301 教室	80 名
利用説明会	農学研究科の榊原先生のグループの学生に利用説明会を行った。	高原英一郎	6/12	1 時間	SPF2	3 名
利用説明会	バイオシグナルの上山先生のグループの北山先生に特殊実験区域における有害物質使用実験についての説明会を行った。	高原英一郎	8/1	1 時間	SPF2	1 名
実験動物マネジメント	本学農学部での集中講義である実験動物マネジメントの開催に協力した。 マウスとラットを用いた実験動物の取り扱いと各種実験手技についての実習講義に際して、使用する実験動物の手配と飼育、器材と資料の準備と片付け、学生の指導の補助等を行った。	横山俊史 万谷洋平 星信彦 坂本雄二 (ケー・エー・シー) 中村正典 (カルナバイオサイエンス)	8/26-29	7 時間 10 分	農学研究科 D301 教室	28 名
実験動物技術者資格取得のための動物実験技術の講習会	実験動物技術者資格の取得を希望する学生を対象とし、各種実験手技の実技講習を行った。資格取得希望者は全員合格し、うち 2 名は成績上位で合格し、成績優秀者として表彰された。	横山俊史 坂本雄二 (ケー・エー・シー)	11/20, 11/21, 11/26- 11/28	11/20 : 1 時間 30 分, 11/21, 26-28 : 3 時間 40 分	農学研究科 B204 教室 KULL 実験室 1	6 名

[委員会等の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
利用者会議	コンベンショナル区域を作るための改修工事の案について利用者の先生方と話し合い、利便性や衛生維持の観点から適切な工事を決定した。	本田和久	5/30	1 時間	農学研究科大会 議室	17 名

放射線統括安全管理室

[講習会の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
六甲台地区放射線・RI 講習会 (非密封 RI 利用)(新規者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.非密封 RI の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	1 時間 20 分	e-learning	18 名
六甲台地区放射線・RI 講習会 (加速器利用) (新規者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.放射線発生装置の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	1 時間 20 分	e-learning	72 名
六甲台地区放射線・RI 講習会 (非密封 RI 利用)(再教育者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.非密封 RI の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	50 分	e-learning	62 名
六甲台地区放射線・RI 講習会 (加速器利用) (再教育者対象)	1.放射線の人体に与える影響について 2.放射線発生装置の安全取扱いについて 3.放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規程について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	50 分	e-learning	102 名
エックス線装置講習会 (新規者・再教育者対象)	1.電離放射線の人体への影響について 2.被ばくを防止するための装置の安全な取扱いについて 3.エックス線障害の防止に関する法令について	宮本昌明 川本智	5/8-5/22	1 時間	e-learning	351 名

[委員会等の開催実績]

名称	内容	講師	開催日	期間 (時間)	場所	参加人数 (合計)
第 1 回放射線安全委員会	業務改善活動の実施について		11/18- 11/25		持回り	14 名
第 2 回放射線安全委員会	業務改善活動の結果について		3/5-3/11		持回り	14 名

2025 年度 講習会・学会・委員会等の参加実績

アイソトープ部門

[講習会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
BD ウェビナー A First Look at FlowJo Software v11	フローサイトメーター	ベクトン・ディッ キンソン	川本智	5/15	web 開催
BD ウェビナーオンデマンド CellView Lens plugin	フローサイトメーター	ベクトン・ディッ キンソン	福島菜々子	5/19	web 開催
ウェビナー「DNA 増幅を介した 微量 DNA のロングリードシー ケンス」	DNA シーケンサー	PacBio、トミーデ ジタルバイオロジ ー、Twist Bioscience、東洋 紡 共催	福島菜々子	5/20	web 開催
タカラバイオウェビナー「ロン グリードシーケンスの最前線 ナ ノポア技術と SMART 技術の融 合が可能にするもの」	DNA シーケンサー	タカラバイオ	福島菜々子	5/21	web 開催
国際規制物資講習会	核燃料物質の安全管理	公益財団法人核物 質管理センター	川本智	6/5	リファレンス 広島小町ビル
明日から使える LC 基礎講座： 第 4 回 LC-MS の基礎	質量分析	Waters	熊田小有里	6/5	web 開催
マイクロピペットセミナー基礎 編 ～精度よくピペッティング するコツ～	マイクロピペット	サーモフィッシャ ーサイエンティフ ィック	福島菜々子	7/16	大阪市
Cytiva オンデマンドウェビナー 「Sera-Mag 磁気ビーズショー トウェビナー プロテオミクス解 析の効率化のための SP3 法の概 要と要点」	試料の前処理方法	Cytiva	嶋津小百合	7/29	web 開催
Thermo 質量分析フォーラム 2025Life Science 分野	質量分析	サーモフィッシャ ーサイエンティフ ィック	嶋津小百合	7/29	グランフロン ト大阪北館 タワーC
BD Horizon NEXT webinar	フローサイトメーター	ベクトン・ディッ キンソン	川本智 福島菜々子	8/8	web 開催

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
技術職員全体研修	教員講義、業務・技術報告	神戸大学	嶋津小百合 川本智	9/18	神戸大学
技術職員分野別研修	コンピュータとデータ表現～Web ページ入門の入門～	神戸大学	川本智	9/29	工学研究科 D2-203 情報 知能演習室
技術職員分野別研修	附属練習船海神丸について	神戸大学	嶋津小百合	10/2	海事科学研究 科附属練習船 海神丸
ライカオンラインセミナー 「Cellpose-SAM で始める最先 端の細胞画像解析」	画像解析	ライカ	柏崎隼	10/21	web 開催
リビドミクスウェビナー	質量分析	三井情報	嶋津小百合	10/29	web 開催
令和 7 年度放射性同位元素等取 扱施設安全管理担当教職員研修	1. ハイパワーレーザーを用いた レーザー核融合研究 2. レーザー科学研究所施設見学 3. 放射線障害予防規定 4. Tc-99m を用いた RI 溶液の 希釈操作と除染作業 5. Ge 検出器を用いたγ線測定 6. 口腔領域における放射線の有 効利用 7. 発表、総合討論	大阪大学放射線科 学基盤機構附属ラ ジオアイソトープ 総合センター	嶋津小百合	10/30-31	大阪大学放射 線科学基盤機 構附属ラジオ アイソトープ 総合センター 吹田本館
BD ウェビナー「EV を“視て”選 ぶ：EV マルチパラメーター解析 と高速分取を実現する世界初画 像解析セルソーターのご紹介」	フローサイトメーター	ベクトン・ディッ キンソン	川本智 福島菜々子	11/13	web 開催
BD Webinar Introduction to FlowJo v11.1	フローサイトメーター	ベクトン・ディッ キンソン	川本智	12/5	web 開催
令和 7 年度核燃料物質の安全管 理に関する講習会	核燃料物質の安全管理	京都大学	川本智	12/11	web 開催
技術職員分野別研修	身近な科学技術と新しい医療技術 を学ぶ	神戸大学	嶋津小百合	12/11	大阪科学技術 館、国際くら しの医療館・ 神戸

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
技術職員分野別研修	身近な下水道技術と環境ビジネスから環境問題への取り組みを学ぶ	神戸大学	川本智	12/12	大阪市下水道科学館、大阪環境産業振興センター おおさか ATC グリーンエコプラザ
サンガーシーケンス解析基礎セミナー（1）基本原理	DNA シーケンサー	サーモフィッシャーサイエンティフィック	熊田小有里	12/16	web 開催
第 3 回質量分析技術者研究会座談会	質量分析	質量分析技術者研究会	嶋津小百合	12/23	web 開催
サンガーシーケンス解析基礎セミナー（2）データ確認とトラブルシューティング	DNA シーケンサー	サーモフィッシャーサイエンティフィック	熊田小有里	1/14	web 開催
誰でも簡単！LC-MS や GC-MS の統計解析の基礎 Webinar	質量分析	島津製作所	嶋津小百合 熊田小有里	1/27	web 開催
放射線安全管理研修会	放射線安全管理	原子力安全技術センター	柏崎隼	2/3	web 開催
質量分析装置維持管理情報交換会	質量分析	大学連携研究設備ネットワーク	嶋津小百合	2/6	名古屋大学 名古屋市立大学
データから見る！コアシェルカラムの特長	高速液体クロマトグラフィー	島津製作所	熊田小有里	2/6	web 開催
電離放射線障害防止規則に係る改正法令説明会	法令改正対応	神戸東労働基準監督署 安全衛生課	川本智	2/25	神戸地方合同庁舎
BD ウェビナー Cell cycle analysis: Assay types and data modeling in FlowJo10 Software	フローサイトメーター	ベクトン・ディッキンソン	川本智	3/6	web 開催
BD オンデマンドウェビナー Cell cycle analysis: Assay types and data modeling in FlowJo10 Software	フローサイトメーター	ベクトン・ディッキンソン	福島菜々子	3/9	e-learning
固相抽出メソッド開発を加速する新戦略	試料の前処理方法	Waters	熊田小有里	3/24	web 開催

[学会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
第 21 回放射線安全管理学会 6 月シンポジウム	放射線の安全管理	日本放射線安全管理学会	川本智	6/23	オンライン
実験・実習技術研究会 2026	技術研究発表	実験・実習技術研究会 2026 鳥取大学	嶋津小百合 川本智	3/10	web 開催

[委員会等の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
エックス線装置安全管理委員会	委員長の選出等	委員会	川本智	4/11	オンライン
放射性同位元素等管理委員会	委員交代、業務改善活動報告	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	4/23	メール報告
第 48 回国立大学アイソトープ総合センター長会議	放射線安全管理に関する議論と意見交換	国立大学アイソトープ総合センター長会議	川本智 宇野雄一	6/12-13	京都大学
環境保全推進センター運営委員会	環境保全推進センターの運営に関わる事項	委員会	柏崎隼	7/29- 12/8- 1/20-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	オープンキャンパスにおけるエックス線装置の演示等	委員会	川本智	7/22	オンライン
エックス線装置安全管理委員会	オープンキャンパスにおけるエックス線装置の演示について	委員会	川本智	7/24	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	医学研究科放射線施設の廃止について	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	8/5-	メール審議
核燃料物質安全委員会専門委員会	大地震による被災を想定した事業継続計画の更新について	委員会	川本智	9/25-	メール審議
環境保全推進センター環境保全推進員連絡会	環境保全推進センターの運営に関わる事項	委員会	柏崎隼	9/29	本部棟 6 階大会議室
放射線安全委員会	業務改善活動の実施計画	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	11/18-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	電離則の改正等	委員会	川本智	11/19	研究基盤センターアイソトープ部門

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
エックス線装置安全管理委員会	安全管理規定の改正等	委員会	川本智	12/18-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	規則、規定の一部改正について	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	1/16-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	エックス線装置を使用した小学生向けイベントの開催について	委員会	川本智	1/19-	メール審議
六甲台地区放射線障害防止委員会	予防規定制定、改正、被ばくの管理状況について	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	1/29-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	放射線障害予防規定の制定、一部改正について	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	1/30-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	小学生向けイベントにおけるエックス線装置使用実験について	委員会	川本智	3/3-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	医学部附属病院放射線施設の変更について	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	3/4-	メール審議
放射線安全委員会	業務改善活動の結果について	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	3/5-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	令和8年度教育訓練、手順書作成について	委員会	川本智	3/16-	メール審議
六甲台地区放射線障害防止委員会	放射線施設下部規定改正、令和8年度教育訓練実施要項	委員会	川本智 柏崎隼 宇野雄一	3/23	メール審議

[その他の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
技術職員コンソーシアム・大学技術職員組織研究会合同イベント	大学型研究 DX の最前線	研究基盤協議会	嶋津小百合	9/25	オンライン
研究基盤 EXPO2026	共創する研究基盤について	研究基盤協議会	嶋津小百合	1/27-2/2	オンライン

機器分析部門

[講習会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
安心・安全マイクロウェーブの使用 方法について	マイクロウェーブ	アントンパール	野口喜代子	5/22	web 開催
蛍光 X 線分析による医薬品分析の 基礎	蛍光 X 線分析	リガク	野口喜代子	5/27	web 開催
ACD/Spectrus: NMR データ解析 の基礎	NMR データ解析	富士通	日高興士	5/29	web 開催
アジレントユニバーシティ	ICP-OES	アジレント・テク ノロジー	野口喜代子	6/6-6/7	東京 八王子 会場
令和 7 年度 分析装置総覧講習会	主な分析装置	分子科学研究所	野口喜代子	6/18	web 開催
走査電子顕微鏡観察の基礎	SEM	京都市産業技術研 究所	野口喜代子	6/25	web 開催
検量線作成のスキルを速攻 マスター	ICP-OES	アジレント・テク ノロジー	野口喜代子	7/1	web 開催
SEM×XRF コラボセミナー ～スクリーニングから詳細解析ま で解析事例を紹介します！～	SEM、XRF	日本電子	日高興士	7/4	web 開催
基礎から学ぶ無機分析	第 1 回：分析 を始める前の基礎知識 その 1	大阪大学 コアフ ァシリティ機構	野口喜代子	7/17	web 開催
IoT 対応クロスセクションポリッ シャの紹介	クロスセクションポリッシャ	日本電子	日高興士	7/23	web 開催
令和 7 年度 評価技術講習会	材料組成分析（蛍光 X 線分析法）	京都市産業技術研 究所	野口喜代子	7/23	京都市産業技 術研究所
透過電子顕微鏡用試料作製の種類 と概要	試料作製装置	日本電子	日高興士	8/15	web 開催
SEM 観察 断面作成からデータ解 析まで	SEM	日本電子	野口喜代子	8/20	web 開催
基礎から学ぶ無機分析	第 2 回：分析を始める前の基礎 知識 その 2	大阪大学 コアフ ァシリティ機構	野口喜代子	8/21	web 開催
ICP-OES による二次電池材料の 測定講習会	ICP-OES	鳥取大学 技術部	野口喜代子	9/11- 9/12	鳥取大学
基礎から学ぶ無機分析	第 3 回：標準液の希釈の注意点 と検量線標準液の調製	大阪大学 コアフ ァシリティ機構	野口喜代子	9/18	web 開催
紫外可視分光光度計（UV-vis）の 基礎 溶液測定編	紫外可視分光光度計	アジレント・テク ノロジー	野口喜代子	9/25	web 開催

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
基礎から学ぶ無機分析	第4回：分析値の取り扱い	大阪大学 コアファシリティ機構	野口喜代子	10/16	web 開催
SEM/EBSD/ナノインデント ジョイントウェビナー2025	SEM/EBSD/ナノインデント	日本電子×オックスフォード・インストゥルメンツ	日高興士	11/11	web 開催
ウルトラマイクロトームによる TEM 試料作製の基礎	ウルトラマイクロトーム	日本電子	日高興士	2/6	web 開催
電子顕微鏡で読み取りゆうぐう粒子 表面の宇宙風化	SEM, STEM, Os コーター	メイワフォーシス	日高興士 男澤直子	2/17	web 開催
これでレベルアップ！CP 前処理 の極意～断面ミリング編～	クロスセクションポリリッシャ	日本電子	日高興士	2/27	web 開催
第25回 Bio 電顕セミナー	三次元 SEM	日立ハイテク	日高興士	3/6	web 開催

[学会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
日本顕微鏡学会第81回学術講演会	学術講演、ポスターセッション、写真コンクール	日本顕微鏡学会	日高興士	6/9-6/11	福岡国際会議場
The 25th International Conference on the Science and Applications of Nanotubes and Low-Dimensional Materials	研究成果ポスター発表	NT'25 Organizing Committee	張益仁	6/15-6/20	京都大学百周年時計台記念館
第30回日本病態プロテアーゼ学会学術学術集会	研究成果ポスター発表	日本病態プロテアーゼ学会	日高興士	8/8-8/9	ウインクあいち
第14回若手研究会	招待講演	フラレン・ナノチューブ・グラフェン学会	張益仁	9/23	中央研究院 (台湾)
第69回 フラレン・ナノチューブ・グラフェン総合シンポジウム	研究成果ポスター発表	フラレン・ナノチューブ・グラフェン学会	張益仁	9/24-9/26	国立台湾師範大学
第61回ペプチド討論会	研究成果ポスター発表	日本ペプチド学会	日高興士	10/21-10/23	福岡国際会議場
The 16th International Conference on Recent Progress in Graphene and 2D Materials Research	研究成果ポスター発表	RPGR Organizing Committee	張益仁	11/3-11/7	富山国際会議場
日本顕微鏡学会第68回シンポジウム	学術講演、ポスターセッション、チュートリアル、関西支部大会	日本顕微鏡学会	日高興士	11/13-11/14	野依記念学術交流館

[委員会等の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
令和7年度 国立大学法人 機器・分析センター協議会	総会、ポスター交流会、シンポジウム	国立大学法人 機器・分析センター協議会	日高興士 野口喜代子	10/10	出島メッセ

加速器部門

[学会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
第37回 タンデム加速器及びその周辺技術の研究会	神戸大タンデム加速器の現状2025	九州大学 加速器・ビーム応用科学センター	谷池晃 (講演)	7/3-7/4	九州大学医学部百年講堂
日本原子力学会 2025 年秋の大会	コーディッドアパーチャーを用いた MeV ガンマ線計測 ～幾何学体系計算～	日本原子力学会	谷池晃 城本啓太 浦田尚宏 西浦正樹 松本新功 山岡 人志	9/10- 9/12	北九州国際会議場, AIM
日本原子力学会 2026 年春の年会	ハロゲン樹脂のイオンビーム照射と RBS 分析	日本原子力学会	呑口弦太 谷池晃	3/11- 3/13	熊本城ホール

[講習会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
令和7年度 大学等における放射線安全管理研修会	1. 最近の放射線規制の動向（放射性同位元素等規制法関連） 2. 理研小型中性子源 RANS の紹介（仮題） 3. 原子力人材育成の現実、京都大学複合原子力研究所の挑戦 4. 植物 RI イメージング研究と福島国際研究教育機構の紹介 5. 大学等放射線施設協議会 活動報告	大学等放射線施設協議会	谷池晃 大神侑己	9/5	東京大学農学部弥生講堂

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
令和7年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修	1. ハイパワーレーザーを用いたレーザー核融合研究 2. レーザー科学研究所施設見学 3. 放射線障害予防規定 4. Tc-99mを用いたRI溶液の希釈操作と除染作業 5. Ge 検出器を用いたγ線測定 6. 口腔領域における放射線の有効利用 7. 発表、総合討論	大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター	大神侑己	10/30-31	大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター 吹田本館
令和7年度「放射線安全管理講習会」及び「医療機関のための放射線安全管理講習会」	1. 最近の放射線規制の動向 2. 計画外被ばくの事故事例及びエックス線装置に関わる放射線障害防止対策に係る特別教育について 3. 医療における放射線安全管理 4. 自然起源放射性物質に対する放射線防護の基本的考え方について	公益財団法人原子力安全技術センター	谷池晃 大神侑己	2/3	Web 講習
放射線取扱主任者定期講習	1. 法に関する事項 2. 放射性同位元素等又は放射線発生装置の取り扱いに係る事故が発生した場合の対応に関する課目 3. 放射性同位元素等又は放射性発生装置の取扱い及び使用施設等又は廃棄物詰替施設等の安全管理に関する課目.	公益社団法人原子力安全技術センター	谷池晃	2/25	Web 講習

動物機能解析部門

[講習会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
DX プレイグラウンド「生成 AI による議事要旨作成の自動化」	生成 AI により議事要旨や議事録の作成を DX 化して作業効率を高める方法についての研修	神戸大学 DX・情報統括本部	高原英一郎	5/30	眺望館

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
青少年のための科学の祭典	神戸大学みらい開拓人材育成センターが推進する地域貢献ボランティアの一環として「青少年のための科学の祭典」に理工の技術職員とともに小学生向けの科学実験体験会のスタッフとして参加 研究基盤センターと協賛	公益財団法人日本科学技術振興財団	高原英一郎	8/2,8/3	加古川市民交流ひろば
リビング子ども大学 2025	神戸大学みらい開拓人材育成センターが推進する地域貢献ボランティアの一環として「リビング子ども大学 2025」に理工の技術職員とともに小学生向けの科学実験体験会のスタッフとして参加 研究基盤センターと協賛	サンケイリビング新聞社	高原英一郎	8/18	工学部 B101
DX プレイグラウンド「リアルタイム翻訳の活用 ～安心してください 通じますよ リターンズ～」	生成 AI による自動翻訳ソフトの大学業務における留学生とのコミュニケーション等の有効活用方法についての研修	神戸大学 DX・情報統括本部	高原英一郎	7/18	眺望館
技術職員全体研修	大学本部による技術職員のための全体研修	神戸大学	高原英一郎	9/18	
技術職員分野別研修	生物学実習：ダンゴムシの走性の観察とウシガエル解剖	神戸大学	高原英一郎	9/25	国際文化学部 生物学実験室
大阪府立大医学研究科の ロイハン教授のセミナー	EphrinB ファミリーの精巣組織の形成への関与について	大阪府立大医学研究科 神戸大学農学部	横山俊史 高原英一郎	10/10	農学部 B204
DX プレイグラウンド「AI エージェントの夜明け ～GeminiCLI を使ってみよう～」	AI エージェントである GeminiCLI を使った業務の DX 化についての研修	神戸大学 DX・情報統括本部	高原英一郎	11/26	瀧川記念会館
技術職員分野別研修	脳白質解剖標本の観察とデジタル 3D 教材の作製	神戸大学	高原英一郎	12/18	医学部解剖学教室
DX プレイグラウンド： NotebookLM と挑む AI×思考の最前線	NotebookLM を使った資料の分析やまとめを DX 化する方法について	神戸大学 DX・情報統括本部	高原英一郎	2/5	BMO 棟 セミナー室
DX シンポジウム「変わる大学、 変える私たち」	サイボウズ株式会社代表取締役社長 青野慶久氏による DX のあり方についての講演	神戸大学 DX・情報統括本部	高原英一郎	3/18	百年記念館 六甲ホール

放射線統括安全管理室

[講習会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
国際規制物資講習会	申請、届出等の記載要領	公益財団法人核物質管理センター	川本智	6/5	リファレンス広島小町ビル
核燃料物質の安全管理等に関する講習会	核燃料物質の安全管理	京都大学	川本智	12/11	オンライン
電離放射線障害防止規則改正説明会	電離放射線障害防止規則の改正についての説明会	神戸東労働基準監督署	宮本昌明 川本智	2/25	神戸地方合同庁舎

[学会の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
放射線安全管理学会 6 月シンポジウム	放射線安全管理、法令対応	放射線安全管理学会	川本智	6/23	web 開催
大学等放射線施設協議会総会、研修会	大学および研究機関における放射線安全管理、法令対応に関する議論と情報共有	大学等放射線施設協議会	宮本昌明 川本智	9/5	東京大学農学部 弥生講堂
日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会年次大会	放射線安全管理、法令対応に関する議論と情報共有	日本アイソトープ協会	宮本昌明	10/16-10/17	滋賀県大津市ピアザ淡海

[委員会等の参加実績]

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
国立大学アイソトープセンター会議	放射線安全管理、規制の動向について	国立大学アイソトープセンター会議	参加校メンバー 原子力規制庁 宮本昌明 川本智	6/12-6/13	京都大学国際イノベーション棟
原子力規制庁との意見交換会	放射線安全管理、規制の在り方について	原子力規制庁 大学等放射線施設協議会	原子力規制庁 大学等放射線施設協議会理事・監事・常議員 宮本昌明	6/30	原子力規制庁
厚生労働省との意見交換会	放射線安全管理、規制の在り方について	厚生労働省 大学等放射線施設協議会	厚生労働省、大学等放射線施設協議会理事・監事・常議員 宮本昌明	1/27	厚生労働省
大学等放射線施設協議会理事会	放射線安全管理、規制の動向について	大学等放射線施設協議会	理事・監事 宮本昌明	4/19	オンライン

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
大学等放射線施設協議会理事会	放射線安全管理、規制の動向について	大学等放射線施設協議会	理事・監事 宮本昌明	6/30	東京大学アイソトープ総合センター
大学等放射線施設協議会理事会	放射線安全管理、規制の動向について	大学等放射線施設協議会	理事・監事 宮本昌明	9/4	東京大学アイソトープ総合センター
大学等放射線施設協議会理事会	放射線安全管理、規制の動向について	大学等放射線施設協議会	理事・監事 宮本昌明	1/27	東京大学アイソトープ総合センター
日本放射線安全管理学会編集委員会	学会誌の編集	委員会	委員会委員 宮本昌明	5/12-	メール審議
日本放射線安全管理学会編集委員会	学会誌の編集	委員会	委員会委員 宮本昌明	7/24-	メール審議
日本放射線安全管理学会編集委員会	学会誌の編集	委員会	委員会委員 宮本昌明	12/9-	メール審議
日本放射線安全管理学会編集委員会	学会誌の編集	委員会	委員会委員 宮本昌明	-3/5	メール審議
実験等安全管理会議	全学の実験に関わる安全管理、法令遵守	委員会	理事 各全学委員会委員長	4/25-	メール審議
実験等安全管理会議	レスポンスブルケア月間、各全学委員会報告	委員会	理事 各全学委員会委員長	10/27-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	委員交代、業務改善活動報告	委員会	理事 委員会委員	4/23-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	医学研究科放射線施設廃止	委員会	理事 委員会委員	8/2-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	放射線障害予防規定の制定、一部改正について	委員会	理事 委員会委員	1/30-	メール審議
放射性同位元素等管理委員会	医学部附属病院放射線施設の変更	委員会	理事 委員会委員	3/10-	メール審議
放射線安全委員会	業務改善活動の実施計画	委員会	委員会委員	11/18-	メール審議
放射線安全委員会	業務改善活動の実施報告	委員会	委員会委員	3/10-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	委員長選出、法改正現状共有	委員会	委員会委員	6/4	オンライン
エックス線装置安全管理委員会	エックス線装置の設置	委員会	委員会委員	7/4	メール報告
エックス線装置安全管理委員会	エックス線装置の理・オープンキャンパスでの演示2件、装置の移動	委員会	委員会委員	7/22	対面
エックス線装置安全管理委員会	エックス線装置の理・オープンキャンパスでの演示	委員会	委員会委員	7/28-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	法改正対応	委員会	委員会委員	11/19	対面
エックス線装置安全管理委員会	安全管理規定の改正、小学生向けイベント	委員会	委員会委員	12/18-	メール審議

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
エックス線装置安全管理委員会	小学生向けイベント	委員会	委員会委員	1/19-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	小学生向けイベント	委員会	委員会委員	3/3-	メール審議
エックス線装置安全管理委員会	電離則改正に対応した R8 教育訓練、使用手順書	委員会	委員会委員	3/16-	メール審議
核燃料物質安全委員会専門委員会	BCP の更新	委員会	委員会委員 宮本昌明 川本智	9/25-	メール審議
六甲台地区放射線障害防止委員会	被ばく、特殊健康診断、教育訓練実施状況	委員会	委員会委員	10/9	メール報告
六甲台地区放射線障害防止委員会	学術・社会共創機構放射線施設予防規程の改正	委員会	委員会委員	1/27-	メール審議
六甲台地区放射線障害防止委員会	学術・社会共創機構放射線施設下部規程の改正、R8 教育訓練	委員会	委員会委員	3/23-	メール審議
化学物質安全管理委員会	正副委員長選出、R6 毒劇物保管管理状況確認結果、R7 同点検・確認、R7 化学薬品棚卸作業	委員会	委員会委員	4/23	対面
化学物質安全管理委員会	化学薬品管理システム運用ガイドラインの改定	委員会	委員会委員	9/3-	メール審議
化学物質安全管理委員会	R6 毒劇物保管管理状況の確認結果報告再審議	委員会	委員会委員	10/2-	メール審議
化学物質安全管理委員会	R7 毒劇物保管管理状況確認、学生の事故情報収集	委員会	委員会委員	11/18-	メール審議
化学物質安全管理委員会	R7 毒劇物管理状況、化学薬品の適正管理、不要薬品整理通知	委員会	委員会委員	1/27-	メール審議
動物実験委員会	正副委員長選出	委員会	委員会委員	6/4-	メール審議
動物実験委員会	様式における押印廃止、変更、自己点検・評価報告書	委員会	委員会委員	10/28-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画	委員会	委員会委員	4/4-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	R6 自己点検・評価報告書	委員会	委員会委員	7/7-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画、実験室	委員会	委員会委員	8/5-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画	委員会	委員会委員	9/2-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画	委員会	委員会委員	11/18-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画	委員会	委員会委員	12/17-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画、実験室	委員会	委員会委員	1/23-	メール審議
六甲台地区動物実験委員会	六甲台地区の動物実験計画	委員会	委員会委員	3/13-	ANIFAS

名称	内容	主催	参加者	期間	場所
安全衛生委員会	六甲台地区の安全衛生	委員会	委員会委員	4/24	オンライン
安全衛生委員会	六甲台地区の安全衛生	委員会	委員会委員	5/22	オンライン
安全衛生委員会	六甲台地区の安全衛生	委員会	委員会委員	9/25	オンライン
安全衛生委員会	六甲台地区の安全衛生	委員会	委員会委員	11/27	オンライン
安全衛生委員会	六甲台地区の安全衛生	委員会	委員会委員	1/22	オンライン
安全衛生委員会	六甲台地区の安全衛生	委員会	委員会委員	2/26	オンライン

2025 年度 導入設備

アイソトープ部門

[新規導入研究設備]

機器名称	メーカー名・規格	概要	写真
フレーク アイス メーカー	ホシザキ FM-120M	フレーク状の氷を製造する装置。 非管理区域に設置。	 写真提供：ホシザキ
共焦点 レーザー 顕微鏡	ライカマイクロシステムズ STELLARIS 8	蛍光標本を高速、高分解能、多次元で観察、解析が可能。	
液体シンチ レーション カウンター	アロカ LSC-6101	^3H 、 ^{14}C 領域を高分解能で測定可能な液体シンチレーションカウンター。	 写真提供：アロカ
カロリ メーター	スペクトリス PEAQ-ITC	溶液中の低分子や生体分子等の相互作用を標識や固定することなく高感度に測定できる。 測定値から結合親和性 (KD)、結合比 (n)、エンタルピー変化 (ΔH) およびエントロピー変化 (ΔS) を算出することが可能。	 写真提供：スペクトリス
分析用超遠心 システム	ベックマン Optima-AUC A/I	遠心中に生じる物質の沈降の様子を経時的に測定することができる。分子量決定、分子量分布の測定だけでなく相互作用の測定まで可能。	 写真提供：ベックマン

機器分析部門

[新規導入研究設備]

機器名称	メーカー名・規格	概要	写真
レオメーター	アントンパール MCR 702e MultiDrive (DMA 対応モデル)	レオロジー測定と DMA を一台で行う。液体から固体まで幅広い材料の粘弾性を評価でき、温度制御や多様なジオメトリと組み合わせて材料の力学特性を詳細に解析する装置。	 写真提供：アントンパール
分光蛍光光度計	島津製作所 RF-6000	微量成分から材料発光まで、液体・固体の蛍光・発光特性を高感度に評価。測定波長 200～900nm。	 写真提供：島津製作所

[移管設備]

機器名称	メーカー名・規格	概要	写真	移管元
クロスセクションポリッシャ	日本電子 SM-09010	SEM 観察に適した歪みのない高品質断面を Ar イオンで加工する装置。 金属・セラミックス・樹脂など幅広い材料に対応し、EBSD 前処理にも有用。		工学研究科

2025 年度 各部門・室 活動報告

アイソトープ部門

1. 支援内容

アイソトープ部門は、六甲台地区の放射線業務従事者対象の法令に基づいた教育訓練、非密封放射性同位元素使用施設の運用、一般実験区域の運用（機器・設備利用）、質量分析サービス、DNA 塩基配列解析サービス、フローサイトメトリー・セルソーティングサービスを実施している。2025 年度は下記のような活動を行った。

2. 登録者

453 名（放射線管理区域：63 名、放射線非管理区域 390 名）

（内訳 理：90 名 工：73 名 農：182 名 イノベ：10 名 バイオ：22 名 その他：76 名）

3. 利用件数（学外との連携）

放射線施設	910 件（内、学外 6 件）
機器利用	1003 件（内、学外 3 件）
質量分析依頼	314 件
DNA シーケンサー依頼	6544 件
FACS 依頼	29 件

4. 教育訓練

- ・放射線業務従事者に関わる教育訓練の実施
実施日：5 月 8 日-5 月 22 日（e-learning）
- ・機器利用講習会の開催 8 件 85 名

5. 法令業務

①放射線施設法定自主点検の実施

4 月 28 日、7 月 25 日、10 月 22 日、1 月 22 日に放射線施設の自主点検を実施した。

②放射線業務従事者の個人被ばく管理

放射線業務従事者についてはガラスバッジ、一時立入者についてはポケット線量計を着用することで外部被ばく線量の管理を行った。

③汚染検査、作業環境測定の実施（月 1 回）

管理区域内 68 箇所について検査し、汚染が無いことを確認した。管理区域作業室、管理区域境界、事業所境界の放射線の量を測定し、異常がないことを確認した。また、管理区域作業室の空气中放射性同位元素濃度の測定を行った。内部被ばくの算定を行い、有意な被ばくが無いことを確認した。同時に気流確認を行い、適正な気流が保たれていることを確認した。

- ・ 9 月 8 日、2 月 3 日 消防設備点検対応
- ・ 9 月 12 日 毒劇物管理状況点検
- ・ 10 月 22 日 放射線測定器点検、動作確認
- ・ 7 月 1 日 特殊建築物等定期検査

6. 管理および保守業務

- ・ 4 月 2 日 金剛に線源管理ソフト修正依頼 (4/8 改修)
- ・ 4 月 17 日-5 月 8 日 デジタルマイクロスコープ 実機デモ
- ・ 5 月 14 日 アロカ、千代田テクノルによる β線水モニタ異音調査、調整
- ・ 5 月 29 日 アロカ、千代田テクノルによる β線水モニタポンプ交換、防振強化
- ・ 6 月 18 日 ヒートポンプチラー運転開始、3 号機のポンプが運転せず (7/4 イトーヨーギョーによる不具合調査、復旧)
- ・ 7 月 14 日 アイソトープ部門利用責任者会議 (50 グループ参加)
- ・ 7 月 14-15 日 Exploris 保守点検 (Thermo)
- ・ 7 月 22 日 アロカ、千代田テクノルによるβ線水モニタ調整
- ・ 7 月 23 日 イトーヨーギョーによる貯留槽置場排気ファン不具合調査 (7/28 復旧)
- ・ 7 月 25 日 AMR によるオートサンプラー調整
- ・ 8 月 6 日 SKK による 4 階動物細胞培養室ダクト改修工事、8/25 保温工事
- ・ 8 月 6 日 NanoDrop、MiSeq 不具合によりサービス停止
- ・ 8 月 19-21 日 ライカによる共焦点レーザー顕微鏡 ST8 納品作業、9/2 検出器交換
- ・ 9 月 2 日 広和サービスによる超遠心機 XL-90 点検、消耗品交換
- ・ 9 月 4-11 日 FACD Discover 修理、光軸調整
- ・ 9 月 8 日 SeqStudio Flex で解析できない問題、バッファ交換により復旧
- ・ 9 月 18 日 SKK による 4 階動物細胞培養室除湿機ドレインポンプ設置工事
- ・ 9 月 30 日 センチュリーパル、施設部による雑用水配管接続確認、一部に誤り
- ・ 9 月 17 日 FACS AriaIII 故障
- ・ 9 月 26 日 FACS AriaIII 部品交換により復旧
- ・ 10 月 1 日 ナノ LC オートサンプラー PAL のコミュニケーションエラー、代替機と交換 (10/8)
- ・ 10 月 17 日 施設部による試料調製準備室雑用水配管誤接続確認
- ・ 10 月 21 日 AMR によるナノ LC メンテナンス
- ・ 10 月 21、24 日 アロカによるβ線ダストモニタ確認、速度調整
- ・ 10 月 27 日 千代田テクノルによる廃棄物保管室、RI 実験実習室 2 排水管洗浄
- ・ 11 月 6 日 千代田テクノルによる旧液シンおよび実験台解体、汚染検査
- ・ 11 月 6 日 カートリッジ式ガス供給システム納品、11/17 運用開始
- ・ 11 月 25 日 広和サービスによる超遠心機 Optima XL-90 修理、復旧
- ・ 11 月 25 日 落雷により文理農学部ゲートの監視カメラに不具合 (12/4 つなぎ替えにより復旧)
- ・ 12 月 3 日 液体シンチレーションカウンター納品、管理者向け取扱説明

- ・12月5日 ヒートポンプチラー3号機故障メッセージ（12/26 イトーヨーギョーによる不具合確認、2/12 日立による点検、復旧）
- ・12月25日 日本電技、イトーヨーギョーによる代謝実験室2の湿度計取替
- ・1月14日 入退管理システムに不具合、金剛に修正依頼（1/27 ソフト更新）
- ・12月10日 ナノ LC オートサンプラー修理完了、代替機と交換
- ・12月23日 ナノ LC オートサンプラーシリリングZ軸干渉エラー、キャリブレーション実施
- ・1月22日 局所排気装置自主点検
- ・1月29日 T2 アーキテクトによる4F 低温実験室電源工事
- ・2月9日 カロリメーターPEAQ-ITC 納品
- ・2月10日 地下で異音、水モニタのテスト運転が原因
- ・2月18日 ナノ LC オートサンプラーシリリングZ軸干渉エラー再発（2/20 ウインクスによるナノ LC オートサンプラー調整、復旧）
- ・2月24日 DNA シーケンサー3130xl チェックバルブ故障、部品交換により復旧
- ・2月26日 火災警報対応、植物細胞培養室の加湿器による霧が原因
- ・2月27日 千代田テクノルによるβ線水モニタ異音対策のための再起動
- ・3月3-5日 分析用超遠心システム Optima-AUC 納品
- ・3月4日 ヒートポンプチラー3号機再度エラー
- ・3月5日 千代田テクノルによる RI 排水管掃除口取付・清掃作業
- ・3月5日 イトーヨーギョーによる2階教官研究実験室1 エアコン不具合確認
- ・3月5日 イトーヨーギョーによる雑用水給湯器不具合調査
- ・3月9日 β線水モニタでサンプラーエラー、アロカ、千代田による確認
- ・3月10日 排水制御盤、貯留槽1 水位計異常（3/17 アロカ、千代田による不具合調査）
- ・3月16日 Cytiva による Typhoon IP 保守点検
- ・3月24-25日 Exploris イオン源洗浄作業（Thermo、保守）
- ・3月26日 線源管理システム集計不具合、金剛に修正依頼（3/31 修正対応）
- ・3月30日 ACU-3/FE-3 不具合（3/31 イトーヨーギョーによる不具合調査）
- ・3月31日 法定帳簿の閉鎖、確認作業

7. その他

なし

8. 特記事項（地域貢献活動、学外連携の詳細 等）

放射線取扱施設の監督指導を行う第一種放射線取扱主任者の選任が必要な施設である。

機器分析部門

1. 支援内容

機器分析部門は、学内および学外の研究者に対して大型分析機器の利用供与を行うとともに、各種分析機器の利用講習会や保守管理、分析に関する技術相談などの研究支援を行っている。2025 年度は以下のような活動を行った。

2. 登録者

機器分析部門利用登録業務（新規利用グループの設備利用の認証システム登録）

756 名(内訳 工：342 名 理：181 名 農：95 名 海事：25 名 発達：20 名 人間科学：11 名 医：14 名
イノベ：23 名 先端膜：19 名 その他：26 名)

3. 利用件数（学外との連携）

- ・学内 2119 件
- ・学外 32 件

（六甲バター、テイカ株式会社、IHI、石原ケミカル株式会社、兵庫医科大学、神戸学院大学、甲南大学）

4. 教育訓練

- ・機器利用講習会の開催 29 項目、計 235 名 計 128 時間 30 分

5. 法令業務

- ・X 線漏洩線量測定（千代田テクノル）
- ・消防設備点検
- ・毒劇物管理状況点検
- ・特定化学物質使用状況確認
- ・有害物質使用状況確認
- ・作業環境測定

6. 施設管理および保守業務

[装置全体]

- ・計画停電時装置立ち下げ、装置立ち上げ（6/13, 6/16）

[NMR1]

- ・液体窒素充填（4/1, 4/8, 4/15, 4/22, 4/30, 5/7, 5/13, 5/20, 5/27, 6/3, 6/10, 6/17, 6/24, 7/1, 7/8, 7/15, 7/22, 7/29, 8/5, 8/7, 8/15, 8/19, 8/26, 9/2, 9/9, 9/16, 9/22, 9/30, 10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4, 11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/8, 12/16, 12/23, 12/29, 1/6, 1/13, 1/20, 1/27, 2/3, 2/10, 2/18, 2/24, 3/3, 3/10, 3/17, 3/24, 3/31）
- ・液体ヘリウム充填（6/27, 10/31, 3/2）
- ・炭素・リン信号測定不能、アンプ不具合（4/2）
- ・アンプユニット故障→貸出品で復旧（4/16）
- ・プロトン測定不能（4/22）
- ・解析 PC データ取り出し不能（4/18, 4/30, 9/4）

- ・ BSMS ユニット通信エラー (4/28)
- ・ 分光計メインスイッチ故障→回路変更工事 (6/16)
- ・ 測定 PC 電源落ち (7/2)
- ・ TOPSHIM 不具合 (11/25)
- ・ 自動測定フリーズ (12/17)
- ・ TOPSHIM 不具合 (12/12-12/15)
- ・ サンプル取り出し不能→プローブ外し (12/26, 1/6, 1/8)
- ・ フリーズ→メーカー対応 (1/14)

[XPS/SPES]

- ・ チラー水補充、メンテナンス (4/9, 4/30, 5/19, 6/6, 7/2, 7/14, 7/28, 8/7, 8/25, 9/8, 10/1, 10/27, 11/12, 12/2)
- ・ パワーサプライ交換、24 時間ベーキング (4/11)
- ・ サーバ PC 通信エラー (4/9, 4/14, 4/28, 5/30, 10/1)
- ・ 修復モジュール (4/9, 4/14, 5/1, 6/12, 8/27, 9/3, 9/22, 9/23, 9/27, 10/11, 11/26)
- ・ USB ボード交換, 中和銃電圧低下, 光源故障 (4/28)
- ・ マルチパックキーコード発行 (5/7, 6/17, 7/2, 7/8, 7/17, 7/28, 7/30, 8/6, 8/18, 10/14, 10/31, 11/7)
- ・ 信号 (ピークエネルギー) ずれ⇒中和銃不調 (5/16, 5/23)
- ・ コンプレッサーなどメンテナンス (6/16, 9/18)
- ・ 中和銃およびカメラ光源交換メンテナンス作業 (アルバックファイ) (6/18-6/20)
- ・ サンプル取り出し不能→窒素ガスバルブ調整 (6/23)
- ・ 真空引きの効率低下 (6/23)
- ・ 試料室カメラ認識不能 (7/3)
- ・ ソフトウェアのエラーで測定不可 (7/2, 11/19)
- ・ 熱交換システムエラー (8/25)
- ・ 窒素ボンベ交換 (9/12)
- ・ Analyzer エラー (9/19)
- ・ 冷却水停止 (10/27)
- ・ 測定中エラー→ヒートエクスチェンジャー起動、復旧 (アルバックファイ) (11/20)
- ・ 電子源から emission 電流が出ない⇒利用中止 (12/2)
- ・ 電子源フィラメント交換→ベーキング (アルバックファイ) (12/26)
- ・ ヒートエクスチェンジャーメンテナンス (アルバックファイ) (1/27)
- ・ AI アノード交換→復旧 (アルバックファイ) (3/6-3/10)
- ・ チャンバーカメラ交換 (B アルバックファイ) (3/11)

[RAMAN]

- ・ 光軸合わせ (3/26, 4/25, 5/25, 6/27, 7/28, 8/25, 9/29, 10/27, 11/25, 1/26, 2/25)
- ・ CCD 昇温中に電源 OFF → ソフト障害 (5/15)
- ・ 連続測定時に信号途切れ (CCD 劣化) (5/24, 2/24)
- ・ 測定中に PC 電源リセット→復旧 (11/6)
- ・ 光路調整不具合 (11/20)

- ・試料がステージ内部に落下（12/4）
- ・ステージコントローラロック解除（1/15）

[ICP]

- ・アルゴンガスボンベ交換（5/14, 7/24, 5/14, 6/23, 9/24, 10/15, 12/4, 1/13, 3/17）
- ・波長校正（4/2, 6/16）
- ・窒素ボンベ交換（5/2, 7/18, 7/24, 9/19, 10/15, 12/2, 1/5, 3/26）
- ・分光器校正（6/16）
- ・ドレインチューブ調整（6/18）
- ・スナウトのチェック外れ（7/18）
- ・トーチ交換（7/22）
- ・内標準値低下・検量線不可（7/22）
- ・チラーのエラー表示（7/22）
- ・プラズマ点灯しない（7/23）
- ・本体と PC の接続エラー（7/29, 9/10, 12/10）
- ・サンプルチューブ・ドレインチューブ交換（8/7）
- ・波長校正・検出器校正（8/7）
- ・1 年点検（アジレント）（10/2）
- ・測定中オートサンプラー停止（10/3）
- ・ダクト交換（10/15）
- ・ネブライザー交換、洗浄（10/22, 12/22, 2/10, 3/17, 3/25）
- ・チューブ交換（12/24）
- ・チラー低温アラーム→室温調整（1/23）
- ・ドレインチューブ詰まり、交換（4/4, 5/20, 6/24, 8/20, 10/22, 1/20）

[XRD Ultima IV]

- ・チラー水補充（7/30）
- ・チラー停止（10/24）
- ・チラー水漏れ、水補充（4/9, 12/15）

[STEM]

- ・コンプレッサー水抜き（5/6, 8/4, 9/19, 11/6, 3/13）
- ・ベーキング→コンディショニング、動作確認（5/2, 5/30, 7/11-7/14, 8/22-8/25, 12/26-1/5）
- ・カメラコントローラー電源不良（7/17）
- ・コンディショニング開始せず、100 kV 昇圧停止→装置再起動後復旧（6/16）
- ・左右操作盤フリーズ→リセット復旧（8/22）
- ・昇圧停止（6/16）
- ・観察中ビーム OFF（9/6）
- ・BF 像が映らない→PMT ゲイン調整（10/6）
- ・OL 絞りモータ不良（1/28）
- ・OL 絞り不具合→グリースアップで復旧（2/6）
- ・試料ホルダー挿入時真空不良→ベーキング復旧（2/13-2/16）

- ・ ビーム暗い→ビーム軸調整、TEM モード切替時に元へ戻る (3/5)

[SEM1]

- ・ RP エlement交換 (8/18)

[Os-coater]

- ・ アンブル交換 (4/16, 5/27, 7/17, 7/29, 10/2, 1/5, 2/12)
- ・ 電極等クリーニング (4/28, 7/22, 10/28, 12/17, 2/12)

[C/Pt-coater]

- ・ スプリング交換 (6/25)
- ・ 電極等クリーニング (5/13, 10/2)
- ・ ソフトウェア更新 (メイワフォーシス) (6/25)

[CMS]

- ・ PC 起動障害→測定不可 (5/13)
- ・ PC 障害→以後問題あり (6/23)

[FE-SEM]

- ・ 電子銃真空不良、EDS 検出器 O リング交換により復旧 (4/22)
- ・ 観察画像波打ち、装置 OPE 再起動により復旧 (5/16)
- ・ FSD 画像が取得不可、EBSD システム電源リセットにより復旧 (5/27, 12/12)
- ・ コンプレッサー等メンテナンス (6/16)
- ・ 窒素ボンベ交換 (6/30, 12/1)
- ・ ビーム軸、対物絞り調整 (7/3)
- ・ チラー水補充などメンテナンス (7/14)
- ・ ホルダーランプ不良、センサーエラー修理 (日本電子) (8/5)
- ・ アダプター追加ソフトインストール (9/5)
- ・ RP オイル/Element交換、チラー水交換 (9/25)
- ・ 測定結果エクスポート不能 (マイクロソフト認証エラー) (10/21-10/22)
- ・ SD 取込画像に黒い斜線→連続取得ボタンで復旧 (11/7)
- ・ 瞬間停電による使用中電子銃 OFF→装置復旧 (11/25)

[TEM]

- ・ RP オイル交換 (6/13)
- ・ FIL スイッチ不良→復旧 (9/30, 11/17)
- ・ 使用中にサイドカメラ画像が見えなくなる→復旧見込めない (日本電子) (11/19)
- ・ 瞬間停電によるシャットダウン→復旧 (11/25)
- ・ HT オフ→復旧 (12/24)
- ・ フィラメント断線 (2/16)
- ・ フィラメント交換 (2/20)
- ・ ビーム軸調整 (2/24)
- ・ カメラ出し入れ不能→PC 再起動 (3/11)

[AFM]

- ・カンチレバー交換、レーザー調整（4/4, 5/20, 10/10）
- ・スタブ交換、カンチレバー交換、レーザー調整（4/22）
- ・スキャナ交換（6/10, 6/11）
- ・顕微鏡ライト不調（6/17）
- ・精密アプローチ不調（7/1）
- ・測定画面フリーズ（7/2）
- ・顕微鏡像不調（7/7）
- ・レバーチューン波形異常（7/9）
- ・レーザースポットずれ（7/25）
- ・レーザー調整（1/15）

[卓上 SEM]

- ・RP エlement 交換（8/18）

[XRF]

- ・EA1400 エージング、装置校正（4/16, 4/23, 5/8, 5/19, 6/2, 6/10, 6/17, 7/15, 9/1, 9/9, 9/10, 9/25, 10/6, 10/20, 11/4, 12/10）
- ・EA1400 計測前に計算不能→測定モード変更で対応（2/9）
- ・NANO HUNTER PC 起動不能→HD 挿し直して復旧（3/17）

7. その他

[設備関連]

- ・玄関フロアーヒンジ調整（TAP 神戸）（4/10）
- ・煙感知器取替（スナミ）（4/22）
- ・トイレ配管高圧洗浄・内視鏡調査（フレックス）（5/9）
- ・ICP 室（207）雨漏り → 屋上ダクト老朽化、安福冷暖が対応（6/10）
- ・計画停電時 1 階漏電検査（6/15）
- ・エレベーター不具合対応（6/25）
- ・ヘリウム利用機器・教員調査（6/30）
- ・日立分光光度計 U-3300 を鏑木先生へ引き渡し（7/7）
- ・NMR エアコン排水口詰まり清掃（7/14）
- ・NMR 室エアコン排水溝改修（7/17）
- ・NMR 室エアコンファンベルト交換（7/28）
- ・エレベーター点検（ボタン交換）（9/10）
- ・PC 廃棄集計表提出（9/17）
- ・106 管理室 漏電 UPS 停止（セコム）（10/27）
- ・監視カメラ HDD 交換（10/28）
- ・リユース・リサイクル PC 提出（11/4）
- ・可搬式液体窒素容器耐圧テスト引き取り（11/21）返却（12/17）
- ・アクセスポイント設置（11/27）整備（2/20）
- ・レオメーター設置電気工事下見（12/1）

- ・ ESR 室電気工事 (12/11)
- ・ レオメーター搬入・説明 (12/15-17)
- ・ NMR 室照明 3 台故障 (12/24)
- ・ 分光蛍光光度計 RF-6000 導入 (3/3)
- ・ 会議室電話回線工事 (3/5)
- ・ X 線漏洩検査 (3/18)
- ・ 全室エアコンフィルター清掃 (3/23)
- ・ 建物看板掛け替え (3/16)
- ・ 室名変更作業
- ・ AFM 設置場所変更

[利用者対応]

- ・ 入退館 ID パスコード作成 (6/23, 10/23, 11/9)
- ・ 一斉講習会の案内 (19 グループ 49 件)
- ・ 装置利用研究成果調査 (4/29)
- ・ NMR マニュアル改訂 (5/20)
- ・ 利用者登録の問い合わせ、および登録 (計 12 件)

[全体]

- ・ R6 機器分析部門の実績提出 (4/17)
- ・ R6 年度機器利用に関する研究成果情報調査 (5/13)
- ・ 国立大学法人機器・分析センター協議会メール審議回答 (6/5)、会員登録更新 (6/25)
- ・ 作業環境測定 (7/15, 1/7)
- ・ 一般薬品棚卸作業報告 (8/1)
- ・ 毒劇物保管管理点検 (8/8)
- ・ 消防設備点検 (9/9)
- ・ 研究基盤センター外部評価に係る自己点検・評価書作成 (9/17)
- ・ 令和 7・8 年度清掃契約の変更 (9/26)
- ・ 次期キャンパス情報ネットワークシステム (KHAN2025) の 現地調査 (10/9)
- ・ 研究基盤センターの利用料金算定根拠提出 (11/5)
- ・ 外部審査 (機器保守記録と予算管理に改善点あり) (11/11)
- ・ R8 年度施設整備等に関する意見交換 (11/12)
- ・ R8 年度概算要求案、事業計画案 (11/27)
- ・ 落雷被害確認 (11/26)
- ・ R7 年度固定資産実査 (12/2)
- ・ R7 年度教育研究設備維持経費対象機器調査 (12/4)
- ・ R8 教育研究設備維持費対象設備の稼働状況 (12/4)
- ・ R7 (減損兆候判定) 設備機器の使用実績 (12/16)
- ・ BioAFM ワークショップ打合せ (12/24)
- ・ 局所排気装置点検 (1/22)
- ・ 火元自主点検・裸火調査 (1/19)

- ・設備整備要求に関する理由書作成（2/4）
- ・文科省貸付物品実地監査（TEM サイドカメラ）（2/9）
- ・令和 7 年度 RA 実績報告書（2/19）
- ・無線 AP 設置・交換（2/20）
- ・Bruker 社 BioAFM ワークショップ（3/3-3/6）
- ・国立大学法人機器・分析センター協議会次期会長選任投票（3/6）
- ・HKK データベース修正

8. 特記事項（地域貢献活動、学外連携の詳細 等）

- ・チェンマイ大学学生見学（6/13）
- ・附属中等教育学校見学対応（6/17, 6/24）
- ・伊川谷高校見学対応（7/7）

極低温部門

1. 支援内容

極低温部門では液体窒素の管理・供給と液体ヘリウムの製造・管理・供給に係わる業務を行っている。

2. 登録者

825 名(内訳 農：281 名 理：281 名 工：147 名 バイオ：33 名 イノベ：19 名 先端膜センター：19 名 医：16 名 発達環境/国際人間：14 名 分子フォト：9 名 その他：6 名)

3. 使用量

液体ヘリウム 10.3 kL、液体窒素 36.6 kL

4. 教育訓練

低温寒剤利用上の事故防止のため寒剤利用講習会を開催

5. 法令業務

- ・兵庫県高圧ガス保安協会による保安検査の対応
- ・高圧ガス設備定期自主検査（年 2 回）
- ・保安係員選任申請
- ・液体窒素 100L 容器 2 台法定検査受検
- ・高圧ガス危害予防規程改正相談

6. 施設管理および保守業務

①ヘリウム液化機関連

- ・ヘリウムガス回収圧縮機異常対応
- ・ヘリウムガス回収圧縮機オートドレイン電磁弁修理
- ・ヘリウムガス回収圧縮機温度異常停止対応
- ・ヘリウムガス回収圧縮機オイル交換
- ・ヘリウム液化機・ガス精製器温度センサー異常対応

②共同利用機器関連

- ・MPMS 通信障害調査
- ・MPMS 通信 RSO 不具合対応
- ・MPMS ブリッジユニット電源出力低下修理
- ・X-band ESR 制御ユニット PC 間通信不良調整
- ・X-band ESR 空冷用ファン不具合調査
- ・X-band ESR 空冷用ファン異常停止
- ・X-band ESR 低温測定用クライオスタット整備
- ・MPMS・RSO ユニット DC モード修理
- ・MPMS・RSO ユニットリーク修理

③その他施設関連

- ・工学部本館ヘリウムガス回収配管延伸相談
- ・工学部本館ヘリウムガス回収配管敷設現場見学
- ・工学部本館ヘリウムガス回収配管延伸部共同溝見学
- ・工学部本館ヘリウムガス回収配管共同溝敷設現場見学
- ・工学部本館 NMR 新設実験室ヘリウムガス回収配管敷設相談
- ・工学部本館 NMR 新設実験室ヘリウムガス回収配管前工事立会い
- ・工学部本館ヘリウムガス回収配管溝敷設工事
- ・工学部本館 NMR 新設実験室内ヘリウムガス回収部品選定
- ・工学部本館ヘリウムガス回収配管(本管-枝管)接続工事

[利用者対応]

①講習会

- ・BEEF Venture を用いた寒剤利用講習 371 名
- ・ESR2 講習会 1 名
- ・液体窒素自動充填装置実地説明会 2 件 (4 名+5 名)

②液体ヘリウム充填サービス

- ・農学研究科 3 件
- ・工学研究科 3 件
- ・機器分析部門 2 件
- ・工学研究科本館 2 件

③その他利用者対応業務

- ・医学部低温電子顕微鏡用液体窒素供給相談
- ・液体窒素 100L 容器貸出
- ・液体窒素 100L 容器リース相談
- ・極低温部門棟外部実験用電源貸与相談
- ・極低温部門棟前マンホール周辺沈降補修工事
- ・外部評価・施設見学
- ・X-band ESR 測定補助：学内 4 件・学外 1 件
- ・実験スペースの公募
- ・不要ヘリウムボンベの引き取り
- ・岩谷産業ヘリウムガス供給状況相談
- ・日本エア・リキード次年度液体窒素納入相談

7. その他

- ・瞬間電圧降下対応
- ・極低温部門棟アース接地不具合改修工事

8. 特記事項（地域貢献活動、学外連携の詳細 等）

特になし

加速器部門

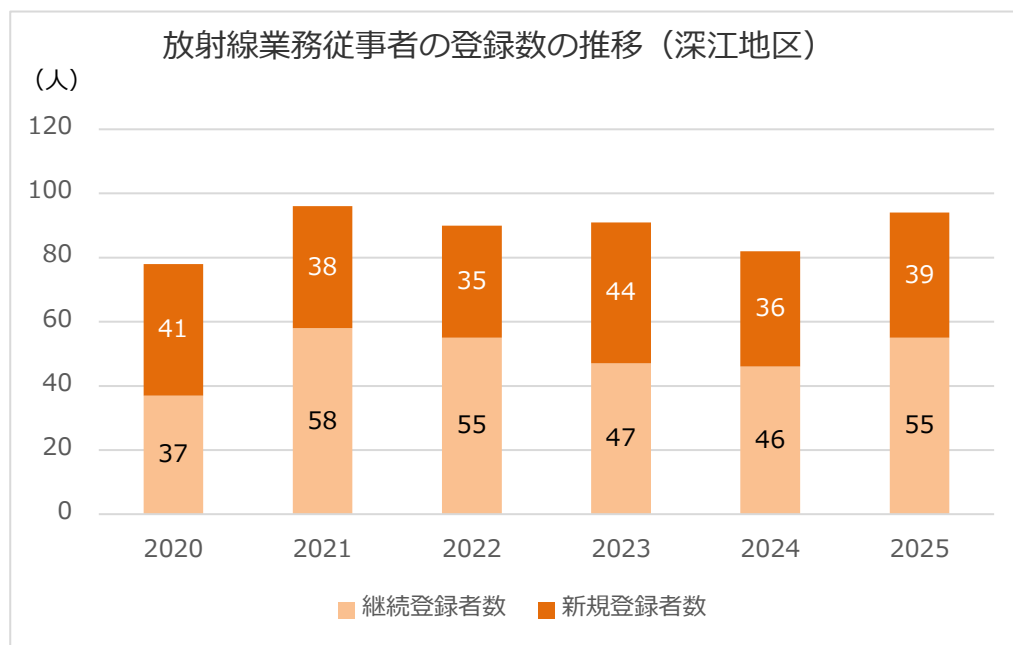
1. 支援内容

加速器部門は、深江地区の放射線施設における各種の管理を行う他に、深江地区における放射線業務従事者の登録及び講習会の開催などの活動を行っている。2025 年度は下記のような活動を行った。

2. 登録者

94 名 (内訳 海事 : 42 名 理 : 19 名 工 : 4 名 学外 : 29 名)

1) 深江地区における放射線業務従事者の登録数の推移



2) 深江地区における放射線業務従事者の所属別登録者数

所 属	教職員	学生	計
理学部	0	4	4
工学部	0	1	1
海事科学部	0	1	1
海洋政策科学部	0	12	12
理学研究科	5	10	15
工学研究科	2	1	3
海事科学研究科	12	17	29
学外	12	17	29
計	31	63	94

3. 利用件数（学外との連携）

- ・利用者 73（海事科学研究科）、20（学内他研究科）、37（学外）
- ・利用日数 78（海事科学研究科）、44（学内他研究科）、39（学外）
- ・学外利用者の所属：住友重機械イオンテクノロジー、大阪大学、福井大学、福岡工業大学、名古屋大学、東京大学、高エネルギー加速器研究機構

4. 教育訓練

- ・放射線業務従事者に関わる教育訓練を実施

5. 法令業務

- ・放射線業務従事者の個人被ばく管理

放射線業務従事者についてはガラスバッジ、一時立入者についてはポケット線量計を着用することで外部被ばく線量の管理を行った。

- ・放射線作業環境測定の実施

管理区域作業室の汚染の状況、空气中放射性同位元素濃度の測定（月 1 回）、管理区域作業室、管理区域境界、事業所境界の放射線量の測定（月 1 回）を外部業者に委託して実施した。

- ・中性子発生装置の漏洩線量測定の実施

加速器および中性子源貯蔵箱の漏洩線量の測定（6 ヶ月に 1 回）を外部業者に委託して実施した。

- ・放射線施設の自主点検の実施

6 月 27 日、9 月 29 日、12 月 24 日、3 月 27 日に放射線施設の自主点検を実施した。

- ・放射線監視システムの点検

9 月 22 日に業者による放射線監視システムの点検を実施した。

- ・その他の法令点検

- ①消防設備の法定点検（9/19, 3/18）
- ②加速器室のクレーン年次点検（3/10）

6. 管理及び保守業務（加速器及び付帯設備の維持・管理業務）

- ・加速器本体及び周辺機器の故障等による調整、修理、部品交換（適宜）
- ・加速器定期メンテナンス（3/24-4/11, 8/11-8/17, 9/22-10/3, 12/30-1/5, 3/24-4/6）
- ・加速器タンク内の電気絶縁用 SF6（六フッ化硫黄）ガスの補充（適宜）
- ・Alphatross 分解掃除、組立て、動作チェック（8/15-8/16, 9/27, 10/3, 12/6, 12/8）
- ・Alphatross、SNICS2 に電気絶縁性冷却材（アサヒクリン）を充填（10/3）
- ・加速器タンクを開けてタンク内の掃除（9/25, 3/23）
- ・学外利用者の実験支援（カソード交換、チェンバーの着脱、イオン源立ち上げ等）（適宜）
- ・P15 用のマイクロスコープ用カメラの交換（11/6）
- ・N2 ボンベ交換（8/4, 11/11）
- ・業者によるチラー点検（6/23, 6/25）

7. その他

①利用者会議の開催

- ・ 上半期：4月2日（4/8-10/6の期間のマシнтаイムの打合せ）
- ・ 下半期：9月29日（9/30-4/6の期間のマシнтаイムの打合せ）

②加速器・粒子線実験施設運営委員会の開催

- ・ 4月4日（「2025年前期加速器利用者会議の議事録」及び「2025年前期マシнтаイム」の承認）
- ・ 6月2日（「RI経費の令和6年度決算報告・令和7年度予算（案）について」及び「タンデム静電加速器 5SDH2 使用に関する要項の一部改正について」の承認）
- ・ 10月2日（「2025年後期加速器利用者会議の議事録」及び「2025年後期マシнтаイム」の承認）
- ・ 2月17日（「タンデム静電加速器 5SDH2 使用に関する要項の一部改正について」の承認）

8. 特記事項（地域貢献活動、学外連携の詳細 等）

加速器施設の監督指導を行う第一種放射線取扱主任者の選任が必要

動物機能解析部門

1. 支援内容

当部門は動物実験における教育・研究の更なる推進、実験動物の飼育環境の整備、動物実験における安全管理の強化、動物実験に係るコンプライアンスの確立を目的に「完全個別換気ケージシステム」を取り入れた最新鋭の医科学・生命科学の趨勢に対処するために集約化された統合動物実験教育研究施設で、部局・専攻横断型の拠点形成、高度な研究をサポートする実験動物技術者の養成を目指す。2025年度は以下の活動を行った。

2. 登録者

93名(内訳 理：5名 農：65名 工：6名 バイオ：15名 発達：2名)

3. 利用件数（学外との連携）

動物実験計画： 41件

利用ケージ数： マウス 107,024 ケージ、ラット 1,404 ケージ

(学外利用 無し)

4. 教育訓練

- ・動物機能解析部門（KULL）を利用するための講習
- ・実験動物マネジメント
- ・実験動物技術者資格取得のための動物実験技術の講習会

5. 法令業務

- ・大型滅菌機の法令検査（12月）

6. 管理及び保守業務

[施設管理]

- ・大型滅菌機 : 定期点検（6月、12月） 法令検査（12月）
- ・ボイラー : 定期点検（毎月）
- ・空調機（ACC1～4） : 2、4の定期点検（7月）1、3の定期点検（8月）各Vベルト交換（年4回）
外気温に応じた温湿度設定の調整や冷暖切替などの操作（適宜）
- ・排気送風機 : 定期点検（7月、12月）老朽化部品の交換（3月）
- ・ロスコン : 定期点検（10月）
- ・光学脱臭装置 : 定期点検（9月）
- ・テクニプラスト社製品 : 定期点検（12月）（個別換気システム、床敷廃棄ステーション
ケージ交換ステーション、ケージ洗浄機）
フィルター交換や清掃等の日常保守作業（適宜）
- ・管理区域全般 : 清掃と殺菌（適宜）、区域間の差圧チェック（適宜）
- ・中央監視盤 : 各飼育室の状態監視

[利用者対応業務]

- ・ 利用者が使用した飼育器材の洗浄と滅菌（適宜）
- ・ 新規に利用するグループへの利用説明（適宜）

7. その他

なし

8. 特記事項（地域貢献活動、学外連携の詳細 等）

- ・ 地域貢献活動
 - ・ 青少年のための科学の祭典：運営ボランティアとして高原が参加
 - ・ リビング子ども大学 2025：運営ボランティアとして高原が参加

放射線統括安全管理室

放射線統括安全管理室は、放射線障害防止法の改正にあたって、これまで各放射線施設単位の管理体制であったものから大学としての安全管理体制の強化を図るために、2018 年 4 月に設置された。学内の放射線施設および放射線業務従事者の法令対応、安全管理の調整・指導・助言を行う。神戸大学全学の放射線安全管理のとりまとめとともに、六甲台地区における放射線業務従事者の登録及び法令に定められた講習会の開催などの活動を行っている。2025 年度は下記のような活動を行った。

1. 放射線安全管理にかかる法令学内対応、調整、情報共有

学内の放射線施設、エックス線装置、その他の放射性同位元素、核燃等の利用にあたって、法令に基づいた安全管理ができるよう、施設管理、安全管理に関する調整、情報共有を行った。また、規制当局など学外から収集した安全管理に関する各種情報を各施設、放射線業務従事者に提供した。

2. 放射線業務従事者の個人被ばく管理

放射線業務従事者の個人被ばく管理はガラスバッジという個人線量計で行い、学内各地区（六甲台、深江、楠）の放射線障害防止委員会で管理している。ガラスバッジの測定は外部業者に依頼しているが、近年、ガラスバッジの未返却が散見され、安全管理上、課題となっていた。このことについて、測定業者と交渉するとともに関係部局と意思疎通、協議を行うことにより改善につなげた。

3. 放射線教育訓練のメニューのデジタル化作業

放射線障害防止法によって規制される放射性同位元素等の他、労働安全衛生法電離放射線障害防止規則に基づくエックス線装置、原子炉等規制法に基づく核燃の利用における安全管理について支援した。2023 年度から放射性同位元素等規制法の教育訓練の e-learning メニュー原稿を英語を含め全てデジタル化を完了し、運用している。また、エックス線装置を規制する法令の改正が 2026 年 4 月 1 日に施行されることから、これに向けて教育訓練のメニュー作成等、対応を開始した。

4. 放射線業務従事者システムの運用

放射線業務従事者の法令に定められた各種情報を効率的に管理するため、放射線業務従事者システムを構築し、運用している。2021 年度からはガラスバッジ測定業者から送られてきた被ばくの測定結果もシステムに流し込み、オンラインで管理者が確認できるようにした。これにより多量の紙媒体を用いた確認から、効率よく被ばくの管理ができるようになった。安定的に運用している。さらに Web からセキュリティを確保した状態で放射線業務従事者登録ができるよう、システム改修の作業を進め、Web からの登録機能を実装した。2026 年度から放射線業務従事者および事務担当者の負担の大幅な軽減ができるようになる。

5. 教育訓練の実施

法令に定められた教育訓練について、放射性同位元素、加速器利用では放射性同位元素等規制法および労働安全衛生法電離放射線障害防止規則、エックス線装置利用では労働安全衛生法電離放射線障害防止規則に対応した e-learning システムで実施している。

6. 六甲台地区の放射線業務従事者の安全管理

六甲台地区の放射線業務従事者の登録管理、安全管理を事務局と協力して行った。近年増加している外部放射線施設での利用に際して、外部機関との意思疎通を図り、円滑に学内従事者が外部放射線施設で従事できるよう調整を行った。また、保健管理センター、安全衛生コーディネーターから法令に基づいた特殊健康診断の実施等について相談を受け、助言した。

7. 学内部局の「安全の手引き」編集協力

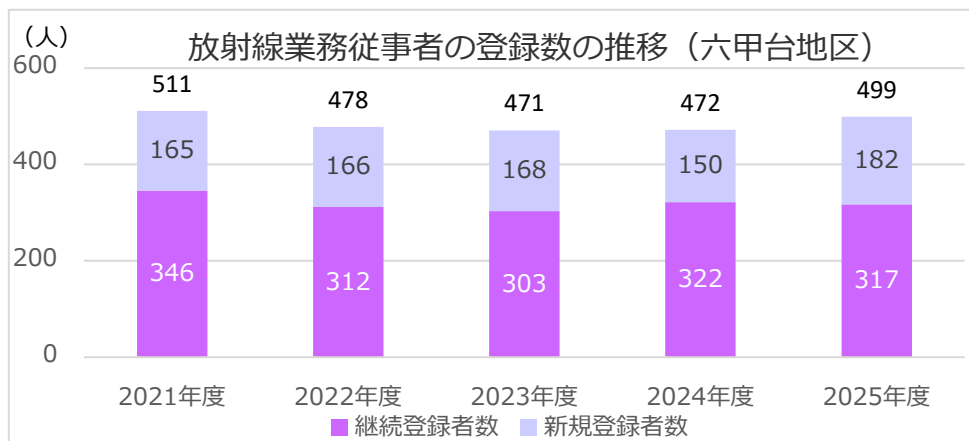
理学部・理学研究科の「安全の手引き」改定作業で、放射線安全の項目を担当した。

8. 高度教養科目「放射線科学 1、2」の担当、調整

農学部が開講する高度教養科目「放射線科学 1、2」の担当、調整を行った。本科目は、神戸大学の放射線取扱主任者を中心として行うオムニバス形式の講義で、放射線の基礎とともに物理系、医学系、農学系、生物学系の各分野での応用、測定、安全取扱、法令、リスクコミュニケーションと幅広く行う。高度教養科目として開講されるため、様々な学部の学生が受講した。また、2025年度から共通教育科目として開講され、より広く学生が履修できるようになった。

9. 六甲台地区における放射線業務従事者の登録数の推移

1) 六甲台地区における放射線業務従事者の登録数の推移



2) 六甲台地区における放射線業務従事者の所属別登録者数

所 属	教職員	準構成員	学生	計
国際人間科学部	0	0	2	2
理学部	0	0	37	37
工学部	0	0	62	62
農学部	0	0	6	6
人間発達環境学研究科	8	0	12	20
理学研究科	33	1	92	126
工学研究科	42	0	113	155
農学研究科	7	0	14	21
海事科学研究科	1	0	0	1
科学技術イノベーション研究科	11	0	8	19
大学教育推進機構	3	0	0	3
バイオシグナル総合研究センター	10	0	0	10
分子フォトサイエンス研究センター	4	0	0	4
数理・データサイエンスセンター	0	0	0	0
先端膜工学研究センター	8	0	0	8
環境保全推進センター	1	0	0	1
保健管理センター	0	0	0	0
研究基盤センター	9	0	0	9
海洋底探査センター	0	0	0	0
内海域環境教育研究センター	0	0	0	0
維持管理業者	0	15	0	15
計	137	16	346	499

※準構成員は、学外共同研究者等を指す。

10. 放射線統括安全管理室会議の開催

アイソトープ部門放射線施設スタッフと合同で原則毎日開催した。

11. 特記事項

- ・ 例年実施している神戸市消防局放射線研修を 8 月 25 日に神戸市民防災総合センターで行った。放射性医薬品を積載した車両が一般道で事故を起こし、放射性医薬品が漏洩した想定で実地の訓練を行った。5 署所の特殊災害隊の隊員 25 名が参加した。
- ・ 地方自治体の安全確保に関する条例に係る放射線を取り扱う届出事業所の状況の確認を行った。

研究設備サポート推進室

1. センターホームページ（HP）保守管理作業

研究基盤センターの HP は、各部門からの伝達事項（トピックス、新着情報）、機器利用料金、職員の配置、組織の詳細、センター報、宣伝バナー、及び若手フロンティア関連の情報、を掲載している。トピックス、新着情報やお知らせ・機器関連については随時更新を行っている。また学外および学内からの問い合わせ機能も設けている。また利用者登録システム、予約課金システム、研究設備データベース、新規機器の希望調査、謝辞及び文献登録、等への入り口ともなっている。

- ① HP 全般に関すること（新年度利用者手続き案内および FAQ 改訂、研究者データベースの更新（163 件）、外部へのリンクページ更新、情報基盤センターセキュリティ強化・停電対応、学内・学外ページの分別、研究成果紹介ページ公開、「ひょうご神戸研究基盤共同利用機構」ホームページへのリンク作成、等）
- ② 機器分析部門 機器分析部門依頼分・機器一覧、お問い合わせ、機器詳細更新・バナー掲載 XRF（4/3, 4/22）、設置場所変更 試料作製装置（4/21）、機器詳細新設 粘度計（4/22）、分光光度計 U-3300 削除（6/26, 6/30）、SPES 表記修正（7/3）、回転粘度計料金表記追加（7/17）、試料作製室修正（7/29）、試料作製室バナー作成・掲載（8/7,19）、回転粘度計・NMR マニュアル追加（8/21）、クロスセクションポリッシャ追加（8/25）、詳細ページ修正 ICP（9/24）、HP 修正（試料作製装置）、バナー掲載終了処理 オスミウムコーター（10/28）、分光光度計表記変更（11/20）、ダウンロードファイル追加（12/23）、機器一覧修正（ESR1 削除、レオメーター追加、回転粘度計場所変更）（3/3）、機器一覧修正（HPLC 追加）（3/23）
- ③ アイストープ部門 アイストープ部門の新着情報 セミナー告知（4/2）、新着情報確認（5/12, 5/27）、テクニカルセミナートピックス掲載（5/12, 5/27）、TLA-100 予約化に伴う表記修正（6/10）、新着掲載確認（6/17）、新着情報確認（8/5, 8/18）、共焦点レーザー顕微鏡 ST8 新規ページ作成（8/25）、共焦点レーザー顕微鏡セミナーのトピックス掲載（8/26）、バナー掲載 ST8（9/1）、外部金額設定に伴う修正（9/10, 9/22, 9/24）、ND-1000 削除、次世代シーケンサ MiSeq 削除、NGS 解析用 PC1,PC2 削除（10/30）、アイストープ設置機器ページ更新（11/4）、ST8 表記修正（11/20）、アイストープ部門セミナー（2/24）、液体シンチレーションカウンター、カロリーメーター追加（2/24）
- ④ 極低温部門 新着情報、及び設備機器の紹介・利用方法・連絡先（各種申請書、メールアドレス、問い合わせ電話番号）等を掲載している。
- ⑤ 加速器部門の HP については、加速器部門がセンターへ編入・統合した当初より、その設備機器の利用について独自の方法をとっているため、新着情報、及び設備機器の紹介・利用方法・連絡先（各種申請書、メールアドレス、問い合わせ電話番号）等を掲載している。
- ⑥ 動物機能解析部門は、2022 年 4 月に研究基盤センターに編入・統合されたが、その HP については独自に運営をしているため、その HP へのリンクのみを掲載している。

2. コアファシリティセンターへの組織変更にもなうセンターホームページの改訂

2026 年 2 月 1 日より研究基盤センターが新組織である「学術・社会共創機構」のコアファシリティセンターの基盤共用部となること、基盤共用部の下に既存の 5 部門がセクションとして入ること、また研究設備サポート推進室は共用戦略部となること、等が年度途中で決定された。ただし新組織は 2026 年 2 月 1 日に立ち上がるが、既存のセンター組織は並列して存続し、2026 年 4 月 1 日に完全移行するとの事になったため、そのための準備（特に HP の改訂作業）を 1 月頃より開始した。この HP の改訂作業においては下記のような対応を取ることにした。

- ① 各部紹介・・・コアファシリティセンター内に共用戦略部、先端共用部、基盤共用部の 3 部体制となり、

基盤共用部の下に5つのセクションが並ぶ事にした。

- ② サービスの紹介・・・各セクションの下に建物・棟でサービス・機器等を分類する事にした。
- ③ 利用手順・・・・・・利用の仕方は、建物・棟で分ける事にした。
- ④ 利用料金一覧・・・・機器・サービス等の設置場所の建物・棟で分ける事にした。ただし、アイソトープ部門・セクションの機器・サービスについては非常に複雑なので、当面は従来通りとした。
- ⑤ 各種申請書・・・・・・従来どおり、セクション毎で分ける事にした
- ⑥ 沿革図・・・・・・「放射線統括安全管理室」については、これまでの経緯がわかるように記載を残した。
- ⑦ 組織図・・・・・・部局長会議にて報告された文言に沿って記載した。
- ⑧ お問い合わせ・・・・セクション名／建物名が混在する事になるが、実際の問い合わせ先に即した記載とした。
- ⑨ 以上の様な改訂作業を進めた結果、2026年4月1日に特別なトラブルも無く、コアファシリティセンターHPへ移行することを完了した。

3. 利用者 Web 登録システム（通称 R シス）

2019 年度（令和元年度）より研究基盤センターでは「利用者 Web 登録システム」（通称 R シス）を運用開始し、現在に至っている。年度当初の利用者登録作業は各部門の職員が輪番で登録業務にあたっている。（極低温部門 2019→機器分析部門 2020→アイソトープ部門 2021→極低温部門 2022→機器分析部門 2023→アイソトープ部門 2024→極低温部門 2025）。2025 年度の登録者は 1169 名であった。なお加速器部門、及び動物機能解析部門の利用に関しては「利用者 Web 登録システム」を用いず、独自の登録方法をとっている。

- ① 利用者情報更新（4 月）
- ② 利用者側からの希望があり、2025 年度より 10 月当初に 1 週間ほどの利用者 Web 登録期間を試行した。
- ③ R シスから予約課金システム（K シス）へのマクロ変更
- ④ シボレス認証用部局コード表の更新

4. 予約・課金システム（通称 K シス）

機器分析部門に 24 種、アイソトープ部門に 26 種、極低温部門に 2 台の共用機器（MPMS 装置、共用大判プリンター）があり、また機器分析部門においては 2022 年度より「試料作製室」、2024 年度より「会議室」が共用設備として供与されることになった。これらの共用機器・設備の予約(カレンダー表による予約)と課金は「予約・課金システム」（通称 K シス）によって運用されている。これら以外にもアイソトープ部門には多数の実験機器群（18 種）及び種々の解析サービス（7 種；質量分析、DNA シーケンス解析、FACS 細胞分析）があり、これらの予約については主にメール予約制度を利用しているが、課金についてはこの「設備機器利用統合システム」（K シス）を用いて行っている。システムによる効率的な課金処理のため、1 研究室につき経費負担者は 1 名とし、年 3 回（2～5 ヶ月毎に）利用料金計算シートを作成し経費負担者宛に通知している。また、修理・補修に伴う機器の利用停止に合わせ、予約の停止・再開を Web 上で制御している。なお極低温部門での寒剤利用と MPMS 装置利用、加速器部門での研究設備利用、及び動物機能解析部門での研究施設利用に関しては「予約・課金システム」を用いないで、それぞれ独自の予約・課金を行っている。

- ① 利用者情報更新（随時）

5. 学内の研究機器のデータベース化と更新

学内の研究機器をデータベース化して、各部局等に散在する研究室所有の機器（原則として、購入費用 475 万円以上）を個別に共同利用できる制度を構築している。原則として毎年 5 月頃、その 2 年の年度中に購入された機器（原則として、購入費用 475 万円以上）について、機器購入者・管理者へ共同利用が可能かどうかの問い合わせを行っており、可能な場合にはデータベースに登録している。2019 年度 275 件であった登録機器は 2020 年度に 9 件追加登録があり 284 件となった。2021 年度は追加登録は 0 件であった。2022 年度は 1 件減少し 283 件であった。2023 年度は追加登録が 8 件で、総計 291 件となった。2024 年度は追加登録が 9 件、削除が 7 件で、総計 293 件となった。2025 年度は追加登録が 19 件、削除が 0 件で、総計 312 件となった。通常の調査とは別に、掲載内容について部局名・管理者の更新があった場合、再調査し年度末にデータベースを最新の情報に更新している。

- ① 登録機器更新（5～10 月、3 月）

6. 部局共同機器利用システム（通称 B シス）

学内研究機器データベースに登録されている研究機器の内、その機器の使用料金を部局間での経費移動を行う事によって精算できるようにした共同利用機器がある。これらの機器は「部局共同機器利用システム」（通称 B シス）に登録されている。2020 年度は登録機器数は 16 台であったが、2021 年度は担当教員の都合により 2 台となった。2022 年度、2023 年度、2024 年度、2025 年度についても 2 台のままであった。

- ① ユーザ情報の更新（随時）
- ② 機器登録情報更新（随時）

7. サーバ関連および情報基盤センター関連

研究基盤センター全体のネットワークの維持や情報関係の実務を行っている。なお、2021 年度からセンターネットワーク委員会が発足したため、そのサポート業務を行っている。（ただし、2021～2025 年度においてセンターのネットワーク委員会は開催されていないが、部門担当者との直接の情報共有を行う事により、不具合は都度解決している。）

- ① 申請サービス延長申請
- ② メーリングリスト整備（csrea-all, csrea-seminar, csrea-touroku）
- ③ プライベートネットワークセグメントの更新とエッジスイッチポート管理（Garoon）
- ④ DNS ホスティングサービス追加登録
- ⑤ 停電対応（毎年 6 月実施の計画停電時および臨時の停電時に対応）
- ⑥ VM のデータベース整備
- ⑦ ローカル PC のバックアップ
- ⑧ サーバの安全性を保障する SSL 証明書の更新（例年、1～3 月に 1 年分を実施）

8. 「ひょうご神戸研究基盤共同利用機構」の組織確立・拡大と「機構」ホームページの開設・運用と機能拡充

- ① 神戸大学、兵庫県立大学、兵庫県立工業技術センター 3 機関の間での施設・研究機器等の共同利用の推進を図るため、3 機関の協定に基づいた「ひょうご神戸研究基盤共同利用機構」が設立された（2022 年 12 月 13 日）。
- ② その際、「機構」事務の補助は神戸大学・研究推進課研究推進グループが担当し、「機構」HP の維持・管理は研究設備サポート推進室が担当する事となった。

- ③ 2023 年 4 月 1 日より「機構」HP（サポート推進室での手作り作成）を開設・稼働させた。その後、大学本部より HP 機能の拡充(主に分析機器の検索機能を付与)をするための予算が認められた（2023 年 11 月）ため、直ちに HP の改訂作業を開始した。2024 年 5 月 1 日より改訂版 HP を稼働させた。改訂 HP には、神戸大学、兵庫県立大学、兵庫県立工業技術センターの 3 機関が外部へ提供する分析機器やサービスを対象とする検索機能を持たせた。
- ④ 学外利用者用機器予約システム改修の費用が認められた（2024 年 4 月）ため、システム改修作業を開始し、2025 年 3 月末にシステム改修が完了した。2025 年 4 月より「機構」所属の学外利用者にセンター機器の予約システムにアクセスする体制が完了した。
- ⑤ 「機構」を神戸大学、兵庫県立大学、兵庫県立工業技術センターの 3 機関以外にも拡大すべく、近隣の大学、工業高等専門学校などへの呼びかけを開始した（2025 年 1 月）。この活動に合わせ、新規機関の参画に伴う「機構」の規程の見直し、及び新規要領の制定にかかわる打ち合わせを 3 機関の間で開始した（2025 年 2 月）。
- ⑥ 「機構」第 2 回総会を開催し（2025 年 4 月 17 日）、新規機関の参画に伴う「機構」の要領の改訂と新規要領の制定を行った。
- ⑦ 明石工業高等専門学校が 7 月に、武庫川女子大学食物栄養科学部が 8 月に「機構」に新規参画した。
- ⑧ 2025 年度末にかけ、近隣の大学、工業高等専門学校などへの「機構」参画呼びかけ活動を強化した。
- ⑨ コアファシリティセンターへの改組に伴い「機構」HP のサイト管理・維持組織について微修正を行った。

9. 若手フロンティア研究会 2025

「若手フロンティア研究会」は研究基盤センターの利用者のうち、特に大学院生・研究生を対象とした唯一の学域横断的なポスター講演による研究発表会の場であり、例年 12 月下旬に百年記念館の六甲ホール・ホワイエを会場として開催している。

- ① 昨年度に引き続いて、センターを利用していない大学院生・研究生を対象としたオープン部門を設けた。また受賞立候補制度も引き続いて行った。
- ② 3 階ホワイエが狭くなったことから、2025 年度も 2 階ホワイエと六甲ホールを発表会場として開催する事にした。当初のポスター講演募集数を 95 件に絞って募集した。その結果、79 名の応募（アイソトープ・動物機能解析部門 10 名、機器分析・加速器部門 26 名、極低温部門 34 名、オープン部門 8 名）があり、開催日（2025 年 12 月 25 日）当日には 78 件の発表と 245 名の参加者（「志」入試の高校生合格者 55 名、引率教員 2 名の参観を含む）があった。
- ③ 参加した教職員によるグーグルフォームを利用した優秀発表ポスターへの投票を行い、最優秀賞 1 名、部門賞 4 名、奨励賞 1 名を決定した。また初めての試みとして、参加した学生によるグーグルフォームを利用した投票により、「学生が選ぶベストポスター賞」も 2 名決定した。
- ④ 当日、学長及び担当理事 2 名の参加もあり、表彰式後、学長より参加学生への励ましのお言葉をいただいた。

10. 「研究基盤センター報」の作成・公開、及び部局独自指標実績値調査

2024 年度（令和 6 年度）の研究基盤センターの活動を記載したセンター報「研究基盤センター報 2025」（No. 22）を作成・公開した。センターの統計資料はとりわけ重要であり、学内・学外利用件数、機器毎の稼働時間、収益、寒剤の使用料と収益、放射線施設の利用者数を掲載している。2022 年からセンター報作成用に集めた原稿を直ちに「年次報告書」作成に利用出来るような体制に改めたが、2024 年度はさらにそれを進め、「研究基盤センター報」の原稿を直接「年次報告書」作成に利用できる様にフォーマット等を完成させた。2025 年度分については、

4月28日に各部門に原稿依頼し、2回の原稿チェックの後、7月中にほぼ完成し、センターHPには8月20日に掲載した。

またセンター報用の統計資料調査に合わせ、大学本部に報告する「研究基盤センター・部局独自指標の実績調査」も毎年行っている（5月）。これはアイソトープ部門と機器分析部門における学内利用件数をまとめたものであるが、これらの件数についてはセンター報原稿作成時に先行して提出してもらっている。

11. 特命技術員と研究支援推進員の月例報告まとめ

- ① 研究基盤センターに配置されている特命技術員と研究支援推進員の業務活動はシステム運用・修理、トラブル相談、ウェブサイト管理、受託解析、機器管理、講習、メーカー対応、機器操作の練磨、試料作製法、機器情報の更新、寒剤液化、寒剤配送等であり、非常に多岐に渡っている。特命技術員と研究支援推進員はこれらの業務活動を月例報告としてコーディネーターに提出している。コーディネーターはこれらをまとめ、毎月のセンター会議で報告している。これらの蓄積された情報は特命技術員と研究支援推進員のモチベーションの確保だけでなく、センター内での技術スキルの承継・共有化・向上に役立っている。
- ② 当該の報告数は、2024年度当初は5名分(特命技術員2名、研究支援推進員3名)であったが、その後、退職・採用等により2025年度当初には6名分(特命技術員2名、研究支援推進員4名)となり、年度末には6名(特命技術員3名、研究支援推進員3名)となった。

12. 人材育成プログラムに基づくピアレビューの実施

- ① 「人材育成プログラム」に基づき、研究基盤センター職員(専任教員、特命技術員、研究支援推進員)のモチベーションの確保、技術スキルの向上、及びその承継と共有化を図るために継続的にピアレビュー（各技術職員が担当する機器あるいは担当サービスについての状況について自己評価を伴う発表を行い、その発表内容に対する評価をセンター所属教職員が行う）を実施することになっている。2017～2019年度の期間、ピアレビュー実施者は合計12名であった（2020・2021年度はCovid19の感染拡大のため実施せず）。
- ② ピアレビュー対象者の学歴・経歴・職種・職階が多様化し、これまで行っていた方式・評価方法では対応が困難になる事が予想されたことから、2021年度にはピアレビューの実施方法・評価方法を改訂した。改訂版「人材育成プログラム」に基づき、2022年度には5名、2023年度には3名、2024年度には5名の職員についてピアレビューを実施した。
- ③ 2025年度には2名の職員（技術専門員1名、特命技術員1名）についてピアレビュー（対面参加のみ）を実施した。紙媒体による参加者の投票結果を集計し、最終評価結果は執行部会議で報告し、また本人及び所属部門長にも結果を通知した。
- ④ ピアレビュー発表に用いた資料をセンター職員で共同利用（センター職員のみアクセス可能）できるようにGaroonファイル管理フォルダー中に保存することを継続した（2024年10月開始）。これはセンター職員の技術スキルのさらなる向上、及びその承継と共有化を図るためである。
- ⑤ 研究基盤センターからコアファシリティセンターへの改組が行われたが、2026年度以降もピアレビューを継続することを執行部会議にて決定した。

13. センター機器の購入希望調査

- ① 研究基盤センターで新規に購入を希望する機器については研究基盤センターHPに「共用機器の希望調査(教員限定)」を設け、ここから直接に申請できるようにしている。2023年度は16件あり、2024年度は1件、2025

年度は6件あった。これらはセンター執行部会議にて都度報告している。これにより、緊急に予算申請書作成、あるいは予算執行が必要な場合であっても、情報提供などにより迅速に対処できる体制となっている。

14. 謝辞及び文献登録による利用料金減免制度(学内限定)

- ① 研究基盤センターの機器を利用して行った研究が WoS 論文として公開された場合(ただし、論文中に当センターへの謝辞が記載されている事が必要)、文献登録1件あたり1000円を利用登録年の利用料金より減免する制度(ただし、登録年の利用料金が上限)を2025年4月より開始した。
- ② 2025年4月～12月末の期間での登録件数は22件であった。この期間の登録に対する減免は2025年度分の利用料金に対して適用される事になる。
- ③ 2026年1月～3月末の期間での登録件数は2件であった。この期間の登録に対する減免は2026年度分の利用料金に対して適用される事になる。

15. 研究設備サポート推進室会議

- ① 随時、所属メンバー間での情報交換を行っている。所属の職員の勤務場所が機器分析棟と極低温部門棟等に分かれており、また勤務時間も異なるため、必要な情報共有は通常のメール及びメーリングリストを用いて行っている。

16. その他

- ① 節電対策：各部門の月ごとの電気使用量・電気料金等の節電報告をセンター会議で報告していたが、2021年度は休止した。しかし2021年度末からのエネルギー価格の急上昇に伴って電気料金が高騰し、各部門の運用経費の圧迫が想定され、ユーザに提供する研究機器の維持や提供サービスの質低下が懸念される事から、2022年度当初より再開し、2023年度、2024年度、2025年度も継続した。これにより適切な節電対策を実施するための注意喚起・啓蒙活動が行えた。

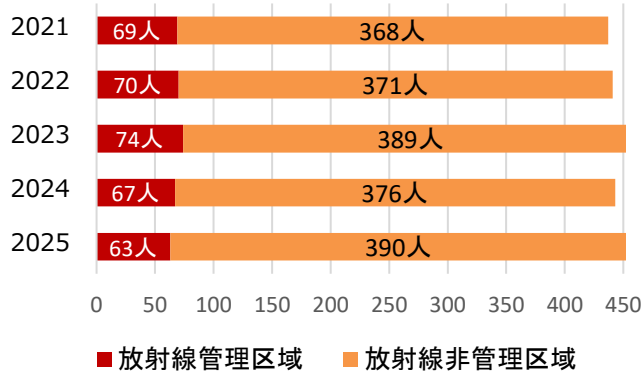
[講習会・学会・委員会等の参加実績]

・該当なし

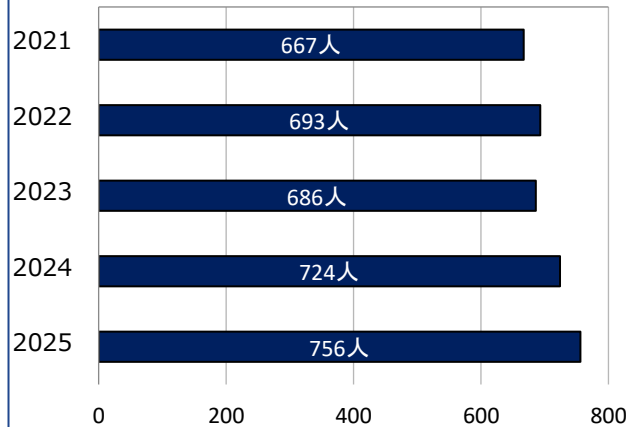
2025 年度 研究基盤センター利用実績

施設利用者及び登録者の推移

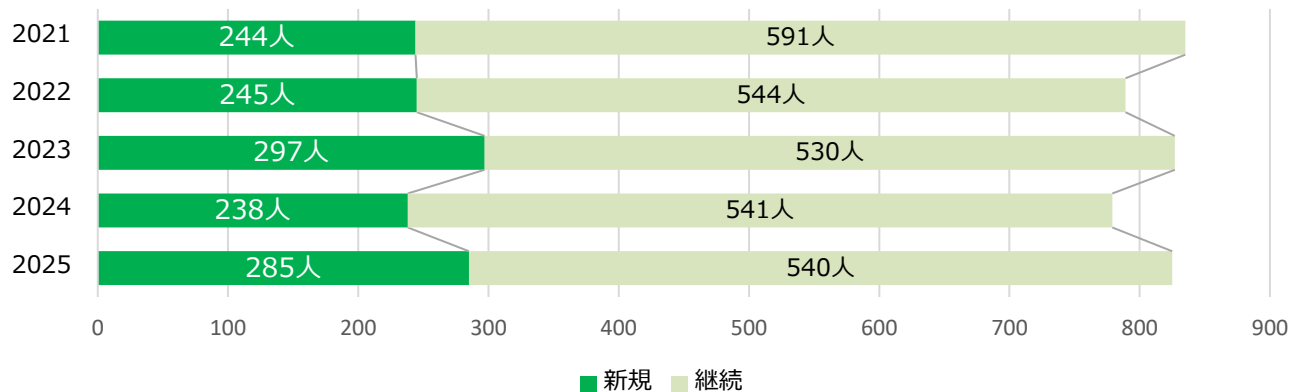
アイソトープ部門登録者数の推移



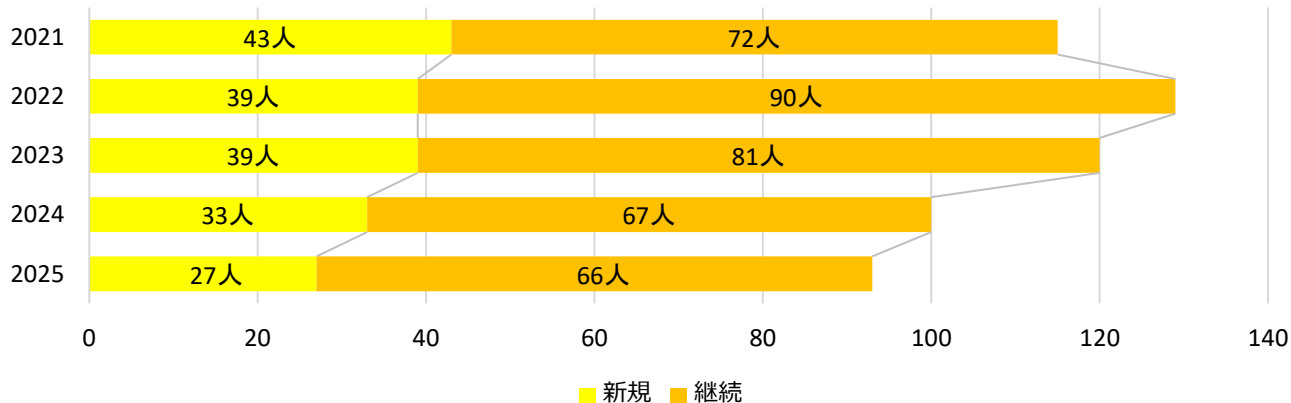
機器分析部門登録者の推移



寒剤利用申請者数の推移

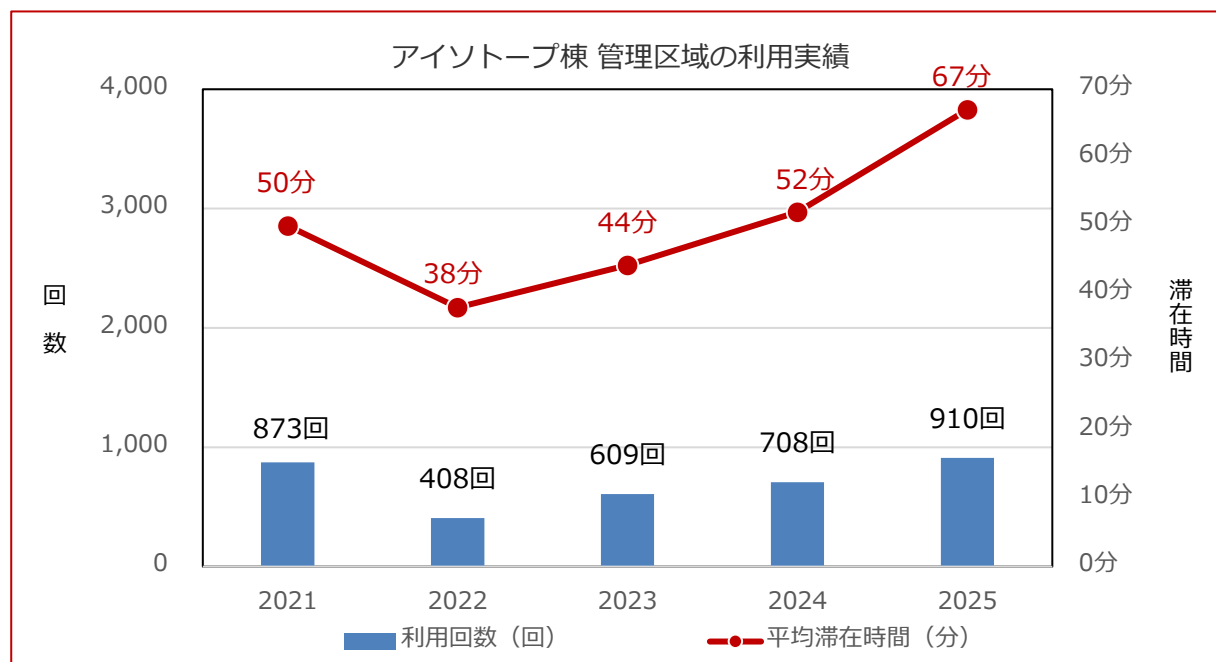


動物機能解析部門利用者数の推移



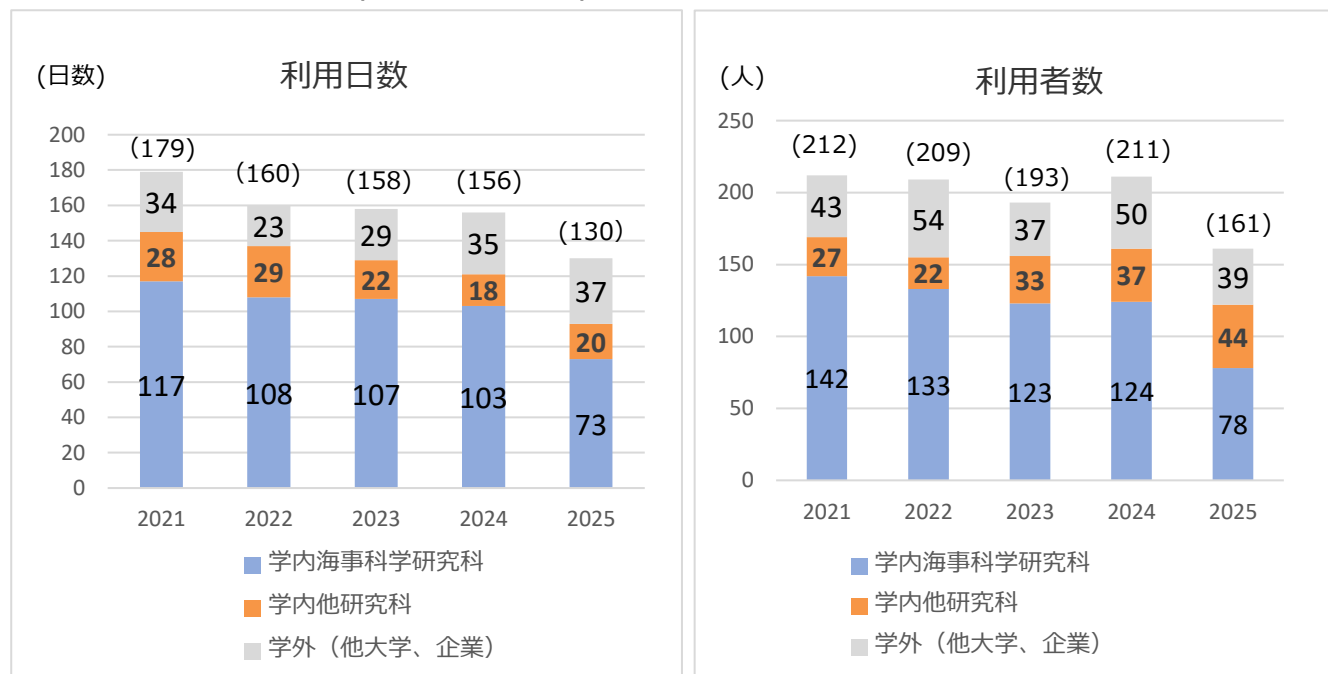
放射線施設利用実績

アイソトープ棟放射線施設管理区域の利用実績



加速器利用実績

1.7MV タンデム静電加速器(Pelletron 5SDH2) 米国 NEC 社製の利用実績

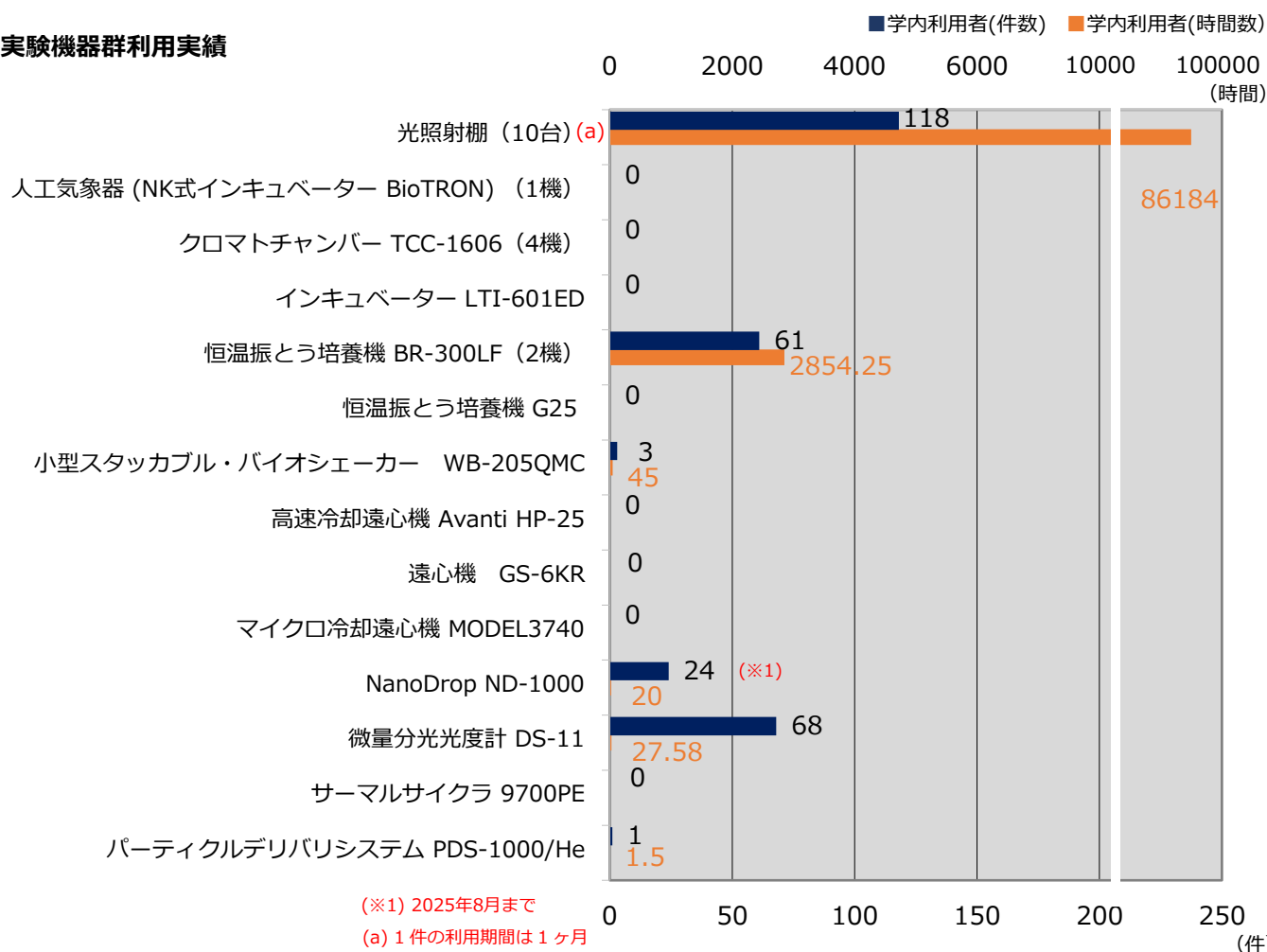


設備機器利用実績

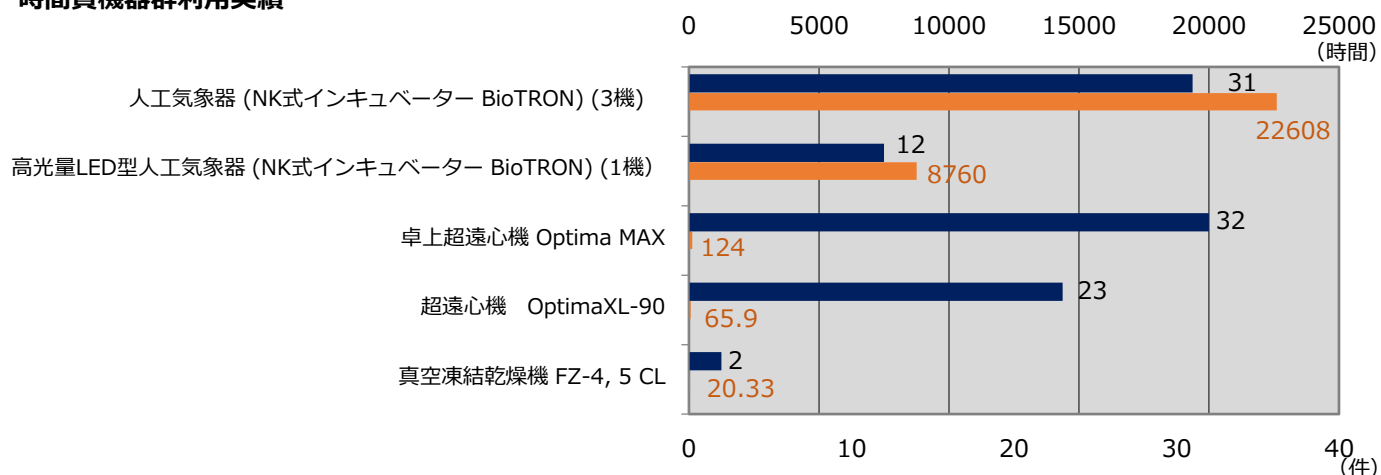
2025 年度設備機器の利用実績

総計 375 件、120710.56 時間

実験機器群利用実績



時間貸機器群利用実績



※設備機器のうち放射線管理区域に設置のもの

・人工気象機(NK 式インキュベーターBioTRON) 1 機
・クロマトチャンバー TCC-1606 2 機

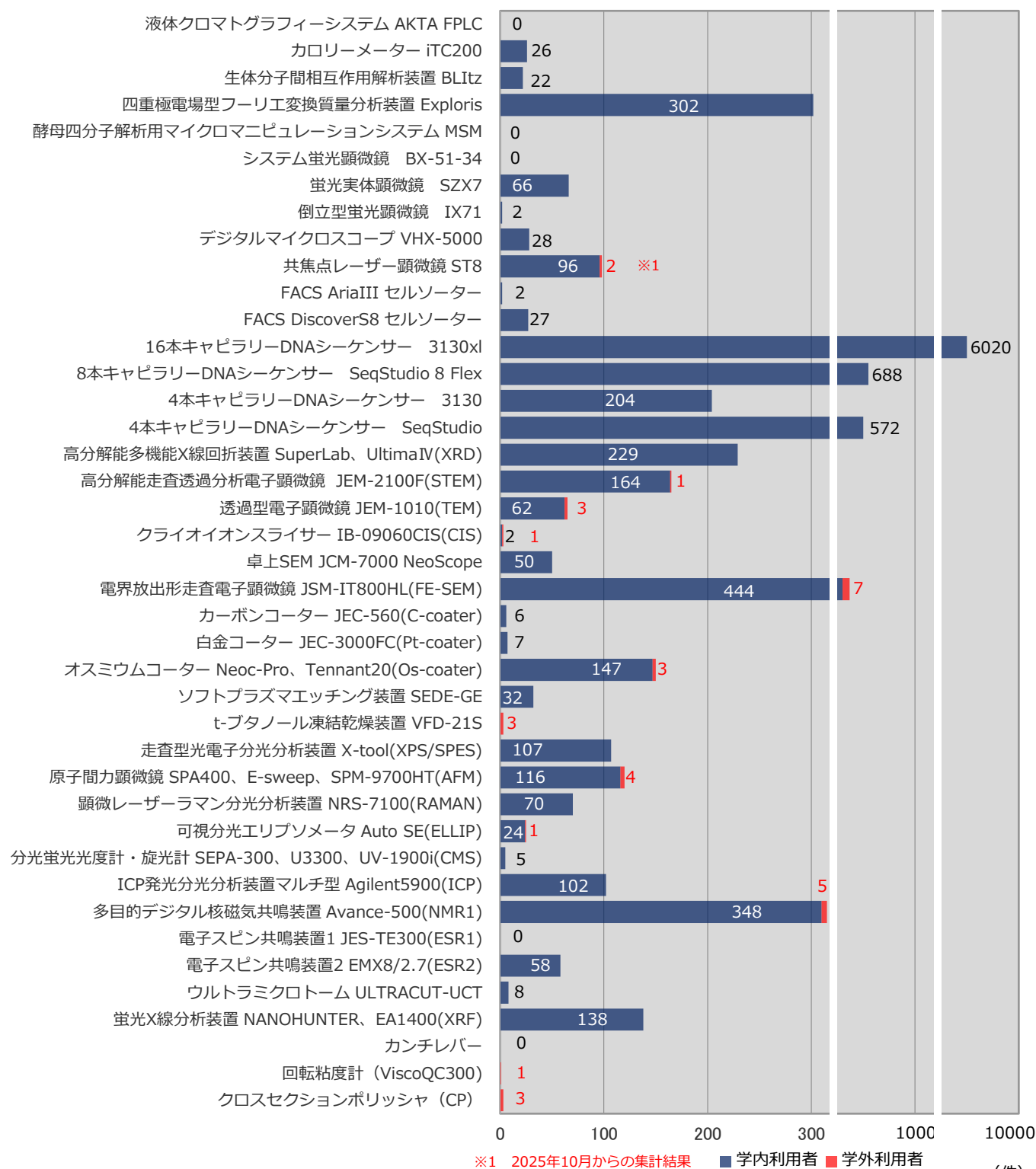
・高速冷却遠心機 AvantiHP-25 1 機
・遠心機 GS-6KR 1 機
・マイクロ冷却遠心機 MODEL3740 1 機

分析機器利用実績

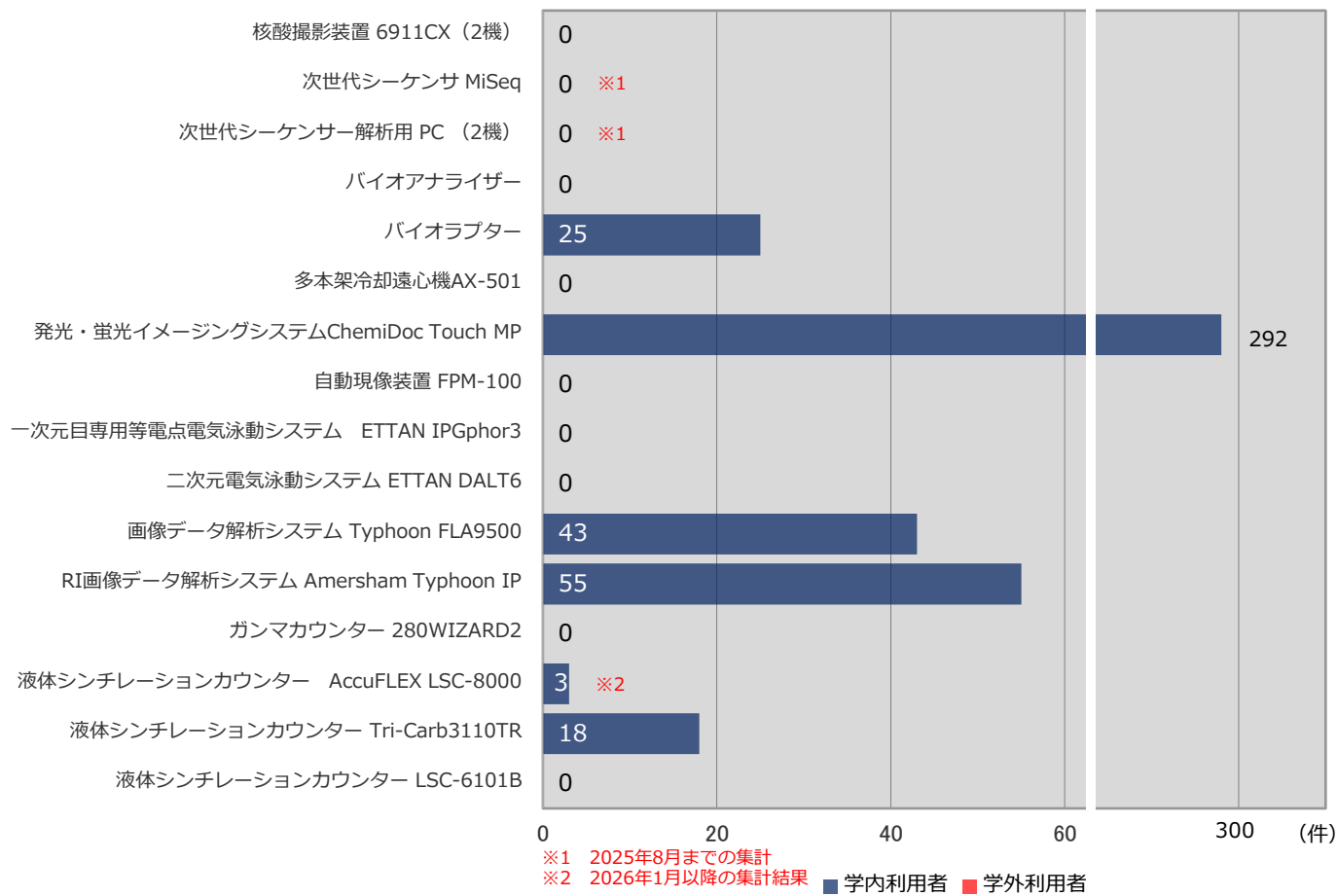
2025 年度分析機器の利用実績（件数）

総計 10644 件

時間貸機器（件数）

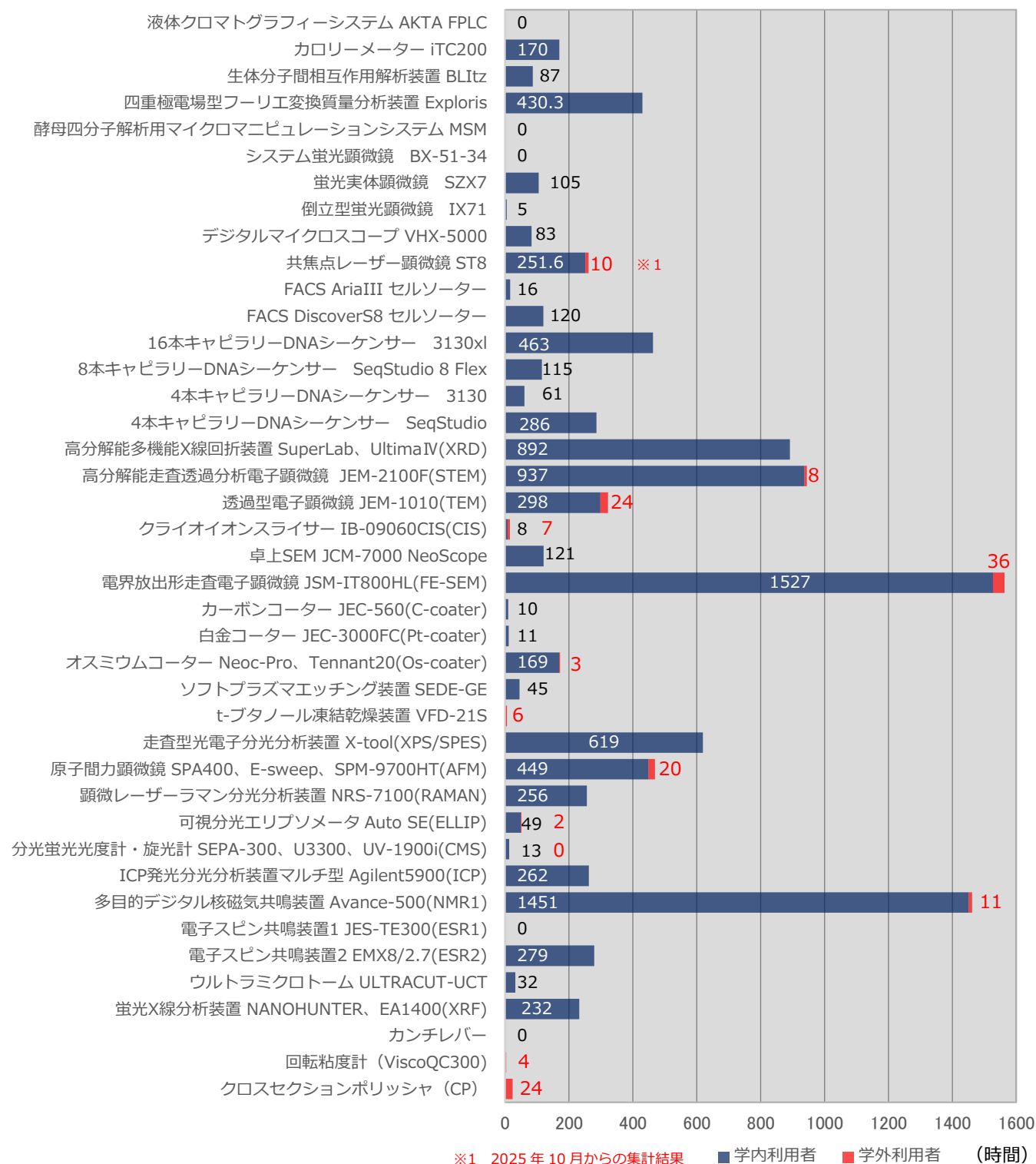


小型機器群（件数）

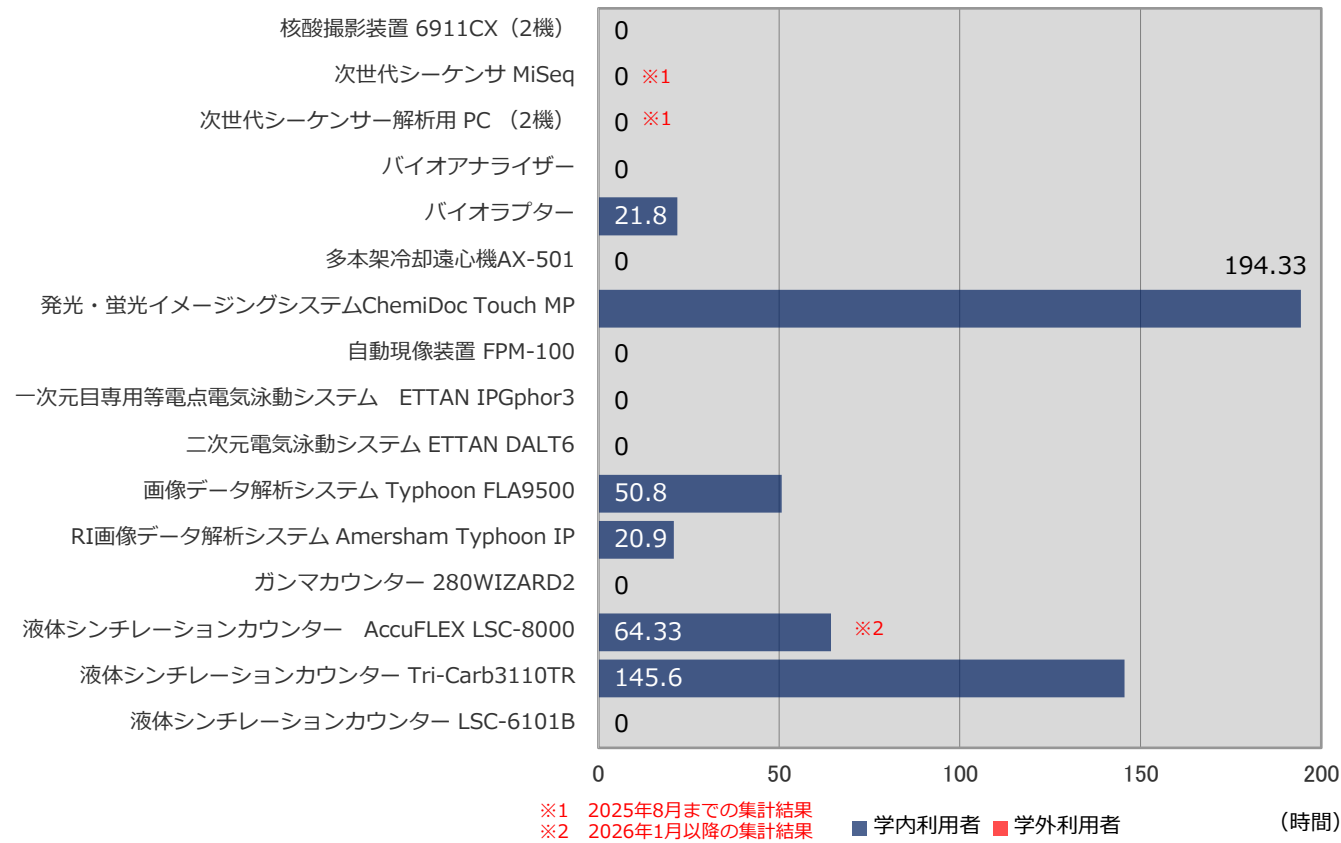


※上記の分析機器のうち放射線管理区域に設置のもの			
・ 自動現像装置 FPM-100	1 機	・ ガンマカウンター 280WIZARD2	1 機
・ 一次元目専用等電電気泳動システム ETTAN IPGphor3	1 機	・ 液体シンチレーションカウンター AccuFLEX LSC-8000	1 機
・ 二次元電気泳動システム ETTAN DALTE	1 機	・ 液体シンチレーションカウンター Tri-Carb3110TR	1 機
・ 画像データ解析システム Typhoon FLA9500	1 機	・ 液体シンチレーションカウンター LSC-6101B	1 機
・ RI 画像データ解析システム Amersham Typhoon IP	1 機		

時間貸機器（時間）



小型機器群（時間）



※上記の分析機器のうち放射線管理区域に設置のもの			
・ 自動現像装置 FPM-100	1 機	・ ガンマカウンター 280WIZARD2	1 機
・ 一次元目専用等電点電気泳動システム ETTAN IPGphor3	1 機	・ 液体シンチレーションカウンター AccuFLEX LSC-8000	1 機
・ 二次元電気泳動システム ETTAN DALT6	1 機	・ 液体シンチレーションカウンター Tri-Carb3110TR	1 機
・ 画像データ解析システム Typhoon FLA9500	1 機	・ 液体シンチレーションカウンター LSC-6101B	1 機
・ RI 画像データ解析システム Amersham Typhoon IP	1 機		

寒剤利用実績

2025 年度液体窒素利用実績

所 属	利用量 (L)
大学教育推進機構	77.9
理学研究科	12287.1
工学研究科	430.5
農学研究科	9447.6
医学研究科	32.8
人間発達環境学研究科	20.5
科学技術イノベーション研究科	14.0
バイオシグナル総合研究センター	5941.6
内海域環境教育研究センター	1092.2
分子フォトサイエンス研究センター	7208.5
研究基盤センター	0.7
計	36553.4

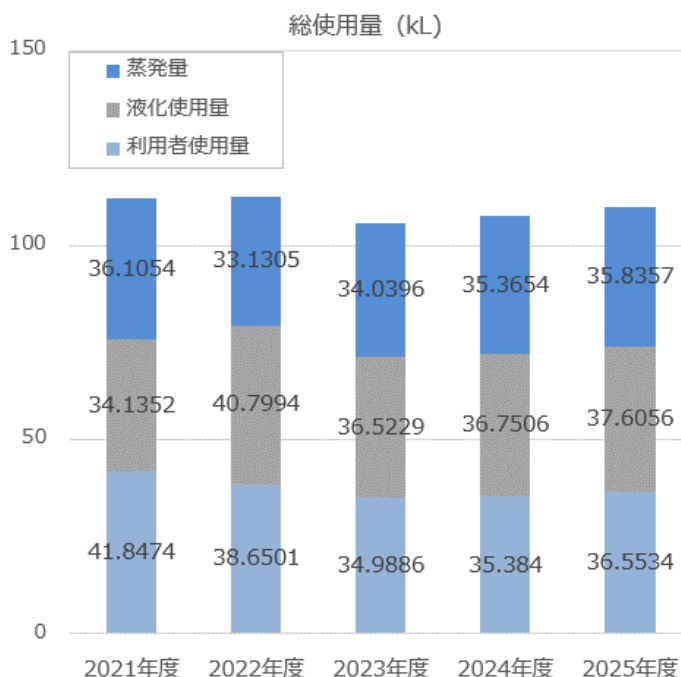


図 1. 最近 5 年における液体窒素総購入量とその使途の推移

蒸発量 : 10 トン貯槽からの自然蒸発
 液化使用 : ヘリウム液化機の予冷に使用
 利用者使用 : 液体窒素利用者による使用

2025 年度液体ヘリウム利用実績

所 属	利用量 (L)
理学研究科	7790.0
工学研究科	260.7
農学研究科	140.5
分子フォトサイエンス研究センター	1954.9
研究基盤センター	159.2
計	10305.3

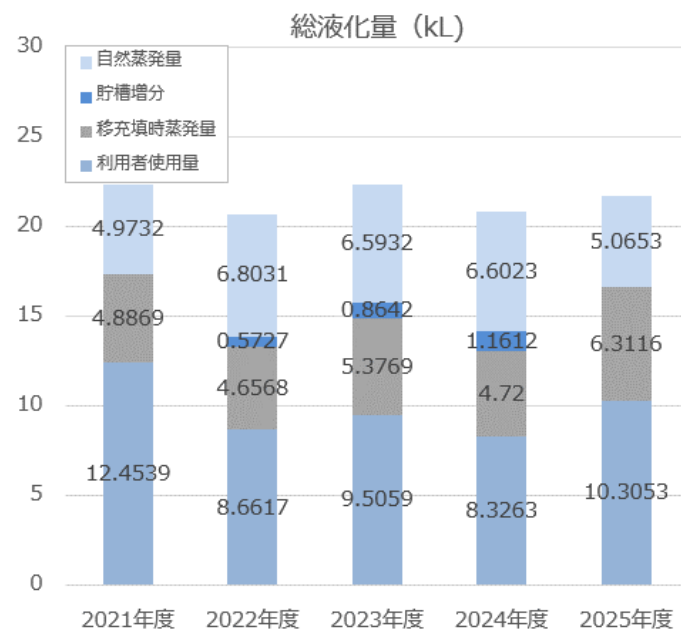


図 2. 最近 5 年におけるヘリウム総液化量とその使途の推移

自然蒸発 : 3000L 貯槽等からの自然蒸発
 貯槽増分 : 3000L 貯槽等の増分
 移充填時蒸発 : 利用者用容器への移充填時における蒸発
 利用者使用 : 液体ヘリウム利用者による使用

2025 年度 研究基盤センター組織

研究基盤センター教職員

		氏 名	備 考
センター長		田中 克志	工学研究科教授
副センター長		若林 伸和	海事科学研究科教授
アイソトープ部門	部門長	宇野 雄一	農学研究科教授
	専任助教	柏崎 隼	
	技術専門員	川本 智	
	技術専門職員	嶋津 小百合	
	特命技術員	熊田 小有里	
	特命技術員	福島 菜々子	(7/1-)
	研究支援推進員	福島 菜々子	(-6/30)
	派遣職員	向井 以津子	
機器分析部門	部門長	的場 修	次世代光散乱イメージング科学研究センター教授
	専任助教	張 益仁	
	特命技術員	日高 興士	
	研究支援推進員	野口 喜代子	(-11/30)
	研究支援推進員	男澤 直子	(2/1-)
極低温部門	部門長	藤 秀樹	理学研究科教授
	専任准教授	赤木 暢	(11/1-)
	技術職員	原 茂生	
	研究支援推進員	嵯峨 慎	
加速器部門	部門長	谷池 晃	海事科学研究科准教授
動物機能解析部門	部門長	本田 和久	農学研究科教授
	助教	横山 俊史	農学研究科助教
	技術専門職員	高原 英一郎	
	研究支援推進員	越智 祐里	
研究設備サポート推進室	コーディネーター	鰐木 基成	
	事務補佐員	山下 利絵	
	技術補佐員	田中 友起子	(7/1-)
放射線統括安全管理室	専任教授	宮本 昌明	

研究基盤センター運営委員会

部 局 名	氏 名	職 名	備 考
研究基盤センター長	田中 克志	工学研究科教授	R6.4.1～R8.3.31
研究基盤センター 副センター長	若林 伸和	海事科学研究科教授	R6.4.1～R8.3.31
研究基盤センター 放射線統括安全管理室長	宮本 昌明	教授	R6.4.1～R8.3.31
研究基盤センター アイソトープ部門長	宇野 雄一	農学研究科教授	R6.4.1～R8.3.31
研究基盤センター 機器分析部門長	的場 修	次世代光散乱イメージング 科学研究センター教授	R6.4.1～R8.3.31
研究基盤センター 極低温部門長	藤 秀樹	理学研究科教授	R6.4.1～R8.3.31
研究基盤センター 加速器部門長	谷池 晃	海事科学研究科准教授	R6.8.1～R8.3.31
動物機能解析部門長	本田 和久	農学研究科教授	R6.4.1～R8.3.31
人間発達環境学研究科	大串 健一	教授	R6.4.1～R8.3.31
医学研究科	仁田 亮	教授	R6.4.1～R8.3.31
保健学研究科	鴨志田 伸吾	教授	R6.4.1～R8.3.31
農学研究科	宇野 知秀	教授	R6.4.1～R8.3.31
海事科学研究科	劉 秋生	教授	R6.4.1～R8.3.31
医学部附属病院	久保 亮治	教授	R6.4.1～R8.3.31
理学研究科	藏重 久弥	教授	R6.4.1～R8.3.31
理学研究科	石崎 公庸	教授	R6.4.1～R8.3.31
工学研究科	丸山 達生	教授	R6.4.1～R8.3.31
システム情報学研究科	羅 志偉	教授	R6.4.1～R8.3.31

研究基盤センター放射線施設安全管理組織

	所 属	氏 名
施設長	農学研究科	宇野 雄一
放射線取扱主任者	研究基盤センター	柏崎 隼
	研究基盤センター	川本 智
	研究基盤センター	宮本 昌明
放射線管理担当者	研究基盤センター	嶋津 小百合

研究基盤センター機器保守担当者（アイソトープ部門）

設 置 機 器	保 守 担 当 者	
四重極電場型フーリエ変換質量分析装置 Exploris	嶋津 小百合	
共焦点レーザー顕微鏡 ST8	柏崎 隼	
デジタルマイクロスコープ	柏崎 隼	
生体分子間相互作用解析装置 BLItz	柏崎 隼	
カロリメーター	嶋津 小百合	
人工気象器 BioTRON	嶋津 小百合	
16 本キャピラリーDNA シーケンサー 3130xl	川本 智	福島 菜々子
8 本キャピラリーDNA シーケンサー SeqStudio 8 Flex	川本 智	福島 菜々子
4 本キャピラリーDNA シーケンサー 3130	川本 智	福島 菜々子
4 本キャピラリーDNA シーケンサー SeqStudio	川本 智	福島 菜々子
FACS AriaIII セルソーター	川本 智	福島 菜々子
FACS DiscoverS8 セルソーター	川本 智	福島 菜々子

研究基盤センターX線装置安全管理組織

	所 属	氏 名
エックス線作業主任者	研究基盤センター	日高 興士

研究基盤センター機器保守担当者（機器分析部門）

設 置 機 器	保 守 担 当 者	
高分解能多機能X線回折装置 SuperLab、UltimaIV (Rigaku)	野口 喜代子	張 益仁 (～11/30) 男澤 直子 (2/1～)
透過型電子顕微鏡 JEM-1010 (JEOL)	日高 興士	張 益仁
高分解能走査透過分析電子顕微鏡 JEM-2100F、JED-2300 (JEOL)	日高 興士	張 益仁
卓上走査電子顕微鏡 JCM-7000 NeoScope (JEOL)	日高 興士	張 益仁
クライオオンスライサー IB-09060CIS (JEOL)	日高 興士	張 益仁
電界放出形走査電子顕微鏡 JSM-IT800HL (JEOL)、C-nano+(オックスフォード・インストルメンツ)	日高 興士	野口 喜代子 (～11/30) 男澤 直子 (2/1～)
走査電子顕微鏡試料作製装置(カーボン/白金/オスミウムコーター/ソフトプラズマエッチング装置、t-ブタノール凍結乾燥装置) JEC-560、JEC-3000FC (JEOL)、Neoc-Pro、Tennant20、SEDE-GE(メイワフォーシス)、VFD-21S (真空デバイス)	日高 興士	張 益仁
走査型光電子分光分析装置 X-tool (アルバック・ファイ)	張 益仁	日高 興士
走査型プローブ顕微鏡 SPM-9700HT (島津製作所)	野口 喜代子 (～11/30) 張 益仁 (12/1～)	張 益仁
顕微レーザーラマン分光分析装置 NRS-7100 (JASCO)	張 益仁	日高 興士
可視分光エリプソメータ Auto SE (HORIBA)	張 益仁	日高 興士
分光蛍光光度計・旋光計 UV-1900i (島津製作所)、F-4500、U-3300 (日立ハイテック)、SEPA-300 (HORIBA)	張 益仁	野口 喜代子 (～11/30) 男澤 直子 (2/1～)
ICP 発光分光分析装置マルチ型 Agilent5900 (Agilent)	野口 喜代子 (～11/30) 張 益仁 (～1/31) 男澤 直子 (3/1～)	張 益仁 (～11/30) 男澤 直子 (2/1～2/28) 張 益仁 (3/1～)
多目的デジタル核磁気共鳴装置 Avance-500 (BRUKER)	張 益仁	日高 興士
蛍光X線分析装置 EA1400 (日立ハイテック)、NANO Hunter (リガク)	野口 喜代子 (～11/30) 張 益仁 (12/1～)	張 益仁 (～11/30)
ウルトラマイクロトム ULTRACUT-UCT (ライカ)	日高 興士	張 益仁
電子スピン共鳴装置 JES-TE300 (JEOL)	張 益仁	野口 喜代子
電子スピン共鳴装置 EMX8/2.7 (BRUKER)	原 茂生	張 益仁

研究基盤センター極低温部門保安管理組織

	所 属	氏 名
保安統括者	理学研究科	藤 秀樹
保安統括者の代理	分子フォトサイエンス研究センター	大久保 晋
保安技術管理者	理学研究科	小手川 恒
保安係員	研究基盤センター	原 茂生
保安係員の代理者	理学研究科	松岡 英一

研究基盤センター機器保守担当者（極低温部門）

設 置 機 器	保 守 担 当 者	
ヘリウム液化システム	原 茂生	嵯峨 慎
液体窒素自動充填システム	原 茂生	嵯峨 慎
MPMS	原 茂生	嵯峨 慎

加速器・粒子線実験施設安全管理組織

	所 属	氏 名
施設長	海事科学研究科	山内 知也
放射線取扱主任者	海事科学研究科	谷池 晃
技術職員 放射線安全管理担当者	海事科学研究科	大神 侑己
研究支援推進員	海事科学研究科	門野 利治 吉川 陽子

研究基盤センター動物機能解析部門保安管理組織

	所 属	氏 名
施設長	農学研究科	本田 和久
獣医師	農学研究科	星 信彦
1 級実験動物技術者	研究基盤センター	高原 英一郎
普通第一種圧力容器取扱主任者	研究基盤センター	高原 英一郎

動物機能解析部門の役割担当者

	所 属	氏 名
施設長	農学研究科	本田 和久
副施設長	バイオシグナル総合研究センター	上山 健彦
マネージャー	農学研究科	横山 俊史
技術専門職員	研究基盤センター	高原 英一郎
研究支援推進員	研究基盤センター	越智 祐里
事務補佐員	研究推進部	梅田 亜紀
SPF1 区域代表者・搬入審査委員	農学研究科	本田 和久
SPF2 区域代表者・搬入審査委員	農学研究科	李 智博
特殊区域代表者・搬入審査委員	農学研究科	橋本 堂史

お問い合わせ

※研究基盤センターは令和8年(2026年)4月にコアファシリティセンターに移行しました。
() は新組織での名称です。

神戸大学コアファシリティセンターホームページ <http://www.csrea.kobe-u.ac.jp/>

研究設備サポート推進室（共用戦略部）	TEL:078-803-5982 E-mail:csrea-morf@research.kobe-u.ac.jp
放射線統括安全管理室（統括放射線安全管理者）	TEL:078-803-6508 FAX:078-803-5987 E-mail:ksui-kiban@office.kobe-u.ac.jp (研究管理課)
アイソトープ部門（アイソトープセクション）	TEL:078-803-5983 FAX:078-803-5049 E-mail:csrea-isotope@research.kobe-u.ac.jp
機器分析部門（機器分析セクション）	TEL:078-803-6420 FAX:078-803-6420 E-mail:csrea-kiki@research.kobe-u.ac.jp
極低温部門（極低温セクション）	TEL:078-803-5996 FAX:078-803-5996 E-mail:csrea-teion@research.kobe-u.ac.jp
加速器部門（加速器セクション） 深江キャンパス	TEL:078-431-6347 FAX:078-431-6308 E-mail:csrea-accel@research.kobe-u.ac.jp 〒658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1
動物機能解析部門（動物機能解析セクション）	TEL:078-803-6549 E-mail:csrea-kull@research.kobe-u.ac.jp
研究推進部 研究推進課 研究推進グループ (研究管理課 研究基盤グループ)	TEL:078-803-5398 FAX:078-803-5049 E-mail:ksui-kiban@office.kobe-u.ac.jp 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

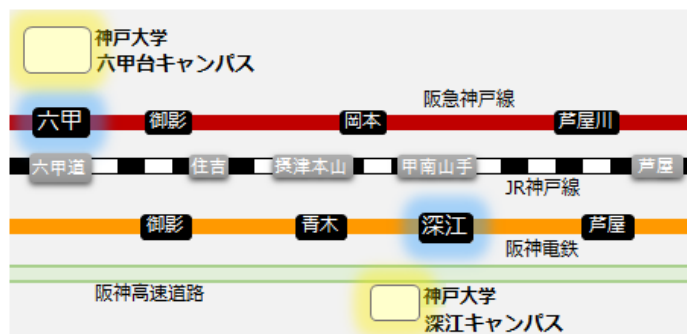
学内地図

■ 六甲台キャンパス



■ 深江キャンパス





■ 六甲台キャンパス

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

阪急「六甲」駅 から徒歩約 15 分～20 分

阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス 36 系統鶴甲団地行、

鶴甲 2 丁目止まり行き乗車「神大文理農学部前」下車、「神大本部工学部前」下車

または、神戸市バス 16 系統六甲ケーブル下行き「神大国際文化学研究科前」下車

■ 深江キャンパス

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1

阪神「深江」駅から南西へ徒歩約 10 分 JR「甲南山手」駅から南西へ徒歩約 20 分

